「外交に関する世論調査」の概要

平成２６年１２月
内閣府政府広報室

調　査　対　象　　全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数 1,801人（回収率60.0％）

調　査　時　期　　平成26年10月16日～10月26日（調査員による個別面接聴取）

調　査　目　的　　外交に関する国民の意識を把握し，今後の施策の参考とする。

調　査　項　目
1　日本と諸外国との関係
2　開発協力
3　国連における日本の役割
4　対外経済
5　文化交流
6　日本の果たすべき役割

調　査　実　績　　昭和 50 年から毎年実施（但し，昭和 51 年を除く。）。今回は 39 回目。

（平成 18 年度の調査から，調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施。）

※　本資料では、過去の調査結果との比較において、統計学的に有意差（信頼度95％）が認められる回答については、「（増）」または「(減)」と記載している。

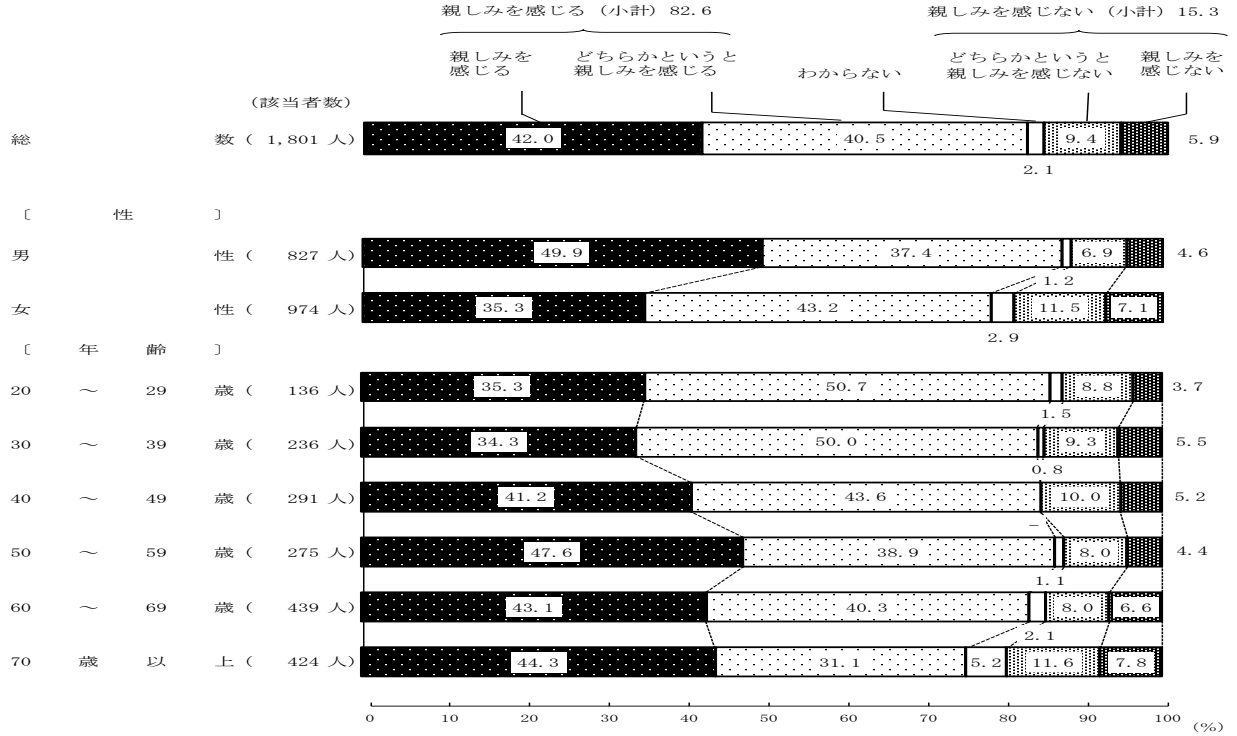
1　日本と諸外国との関係

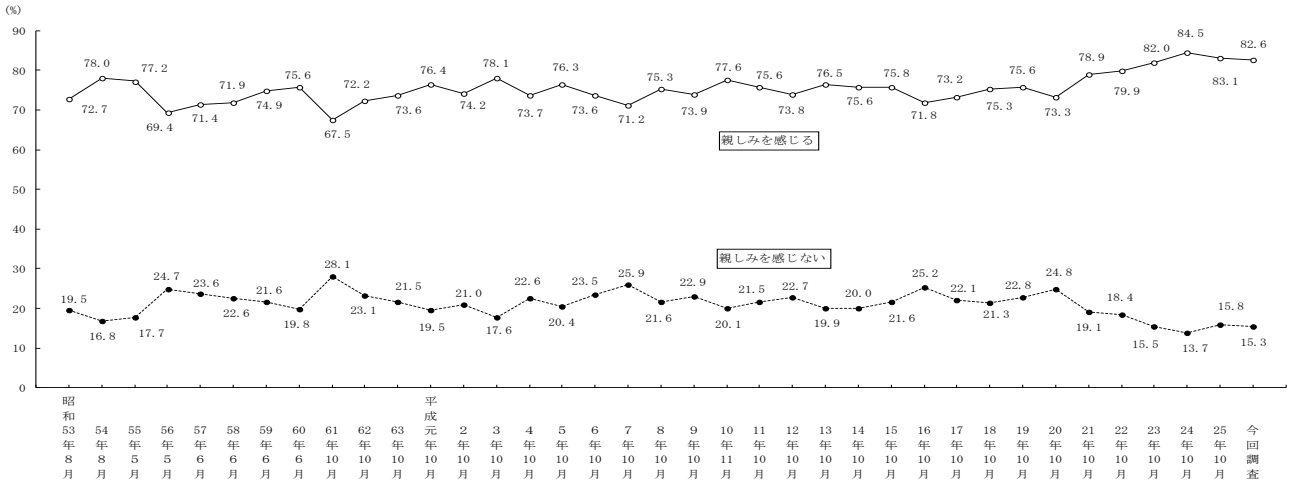
（1） 日本とアメリカ

ア　アメリカに対する親近感

問１－１　あなたは，アメリカに親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	83.1%	→	82.6%
・親しみを感じる	37.2%	→	42.0%(増)
・どちらかというと親しみを感じる	45.8%	→	40.5%(減)
・親しみを感じない（小計）	15.8%	→	15.3%
・どちらかというと親しみを感じない	10.7%	→	9.4%
・親しみを感じない	5.1%	→	5.9%



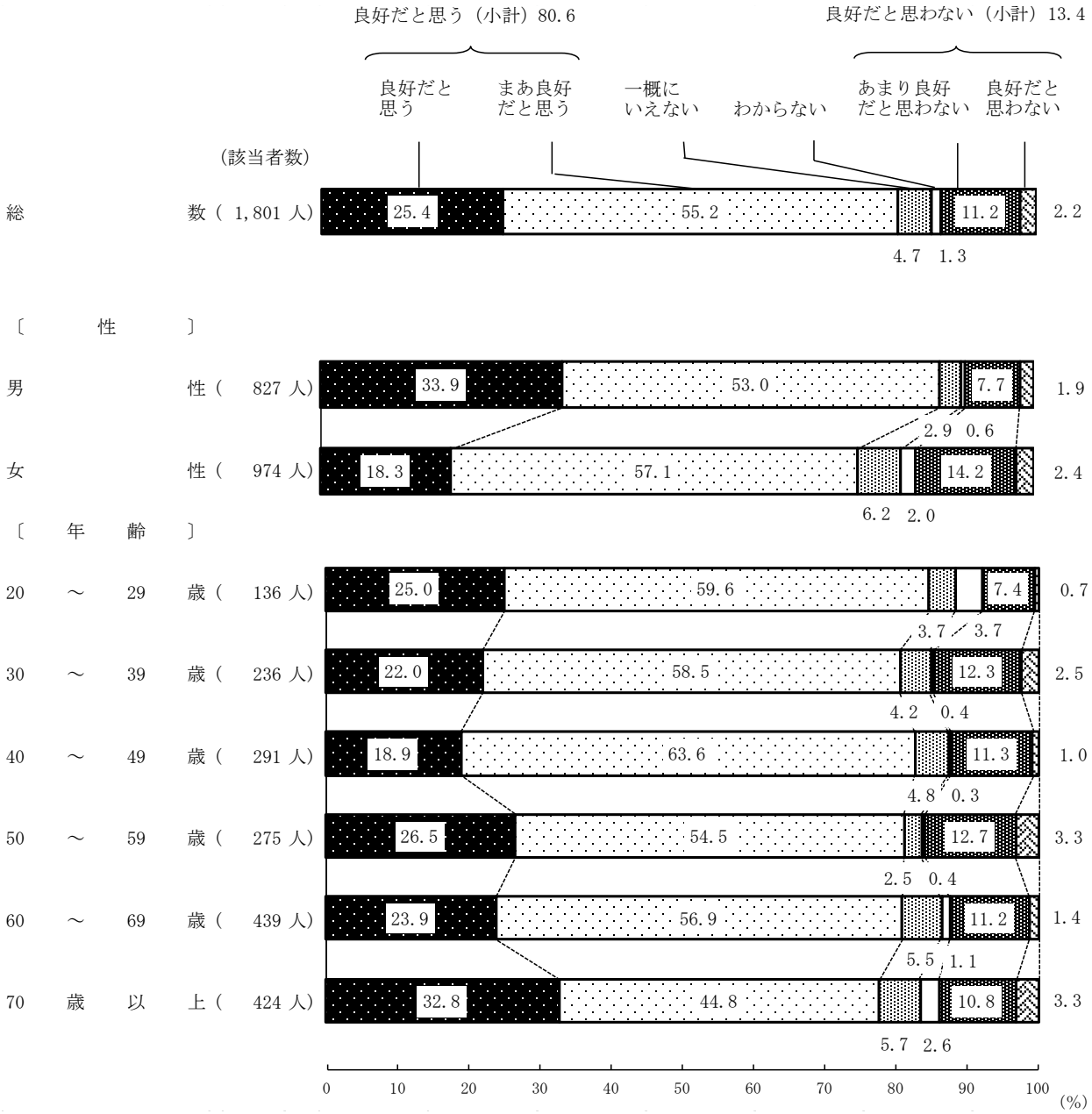


（注）　平成8年10月調査から平成12年10月調査までは，「あなたは，アメリカ(合衆国)に親しみを感じますか。それとも感じませんか。」と聞いている。

イ　現在の日本とアメリカとの関係

問２－１　あなたは，現在の日本とアメリカとの関係は全体として良好だと思いますか，それともそうは思いませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 26 年 10 月
・良好だと思う（小計）	80.6%
・良好だと思う	25.4%
・まあ良好だと思う	55.2%
・良好だと思わない（小計）	13.4%
・あまり良好だと思わない	11.2%
・良好だと思わない	2.2%
・一概にいえない	4.7%

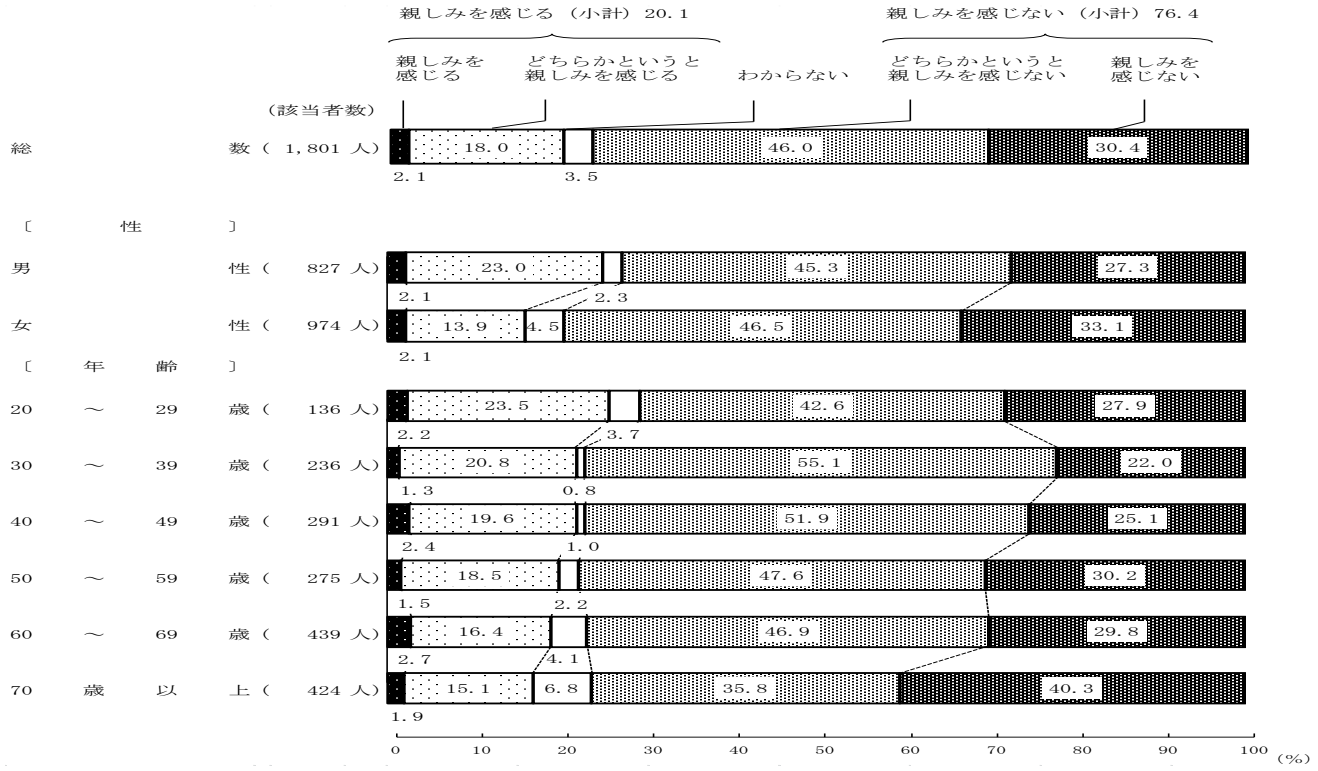


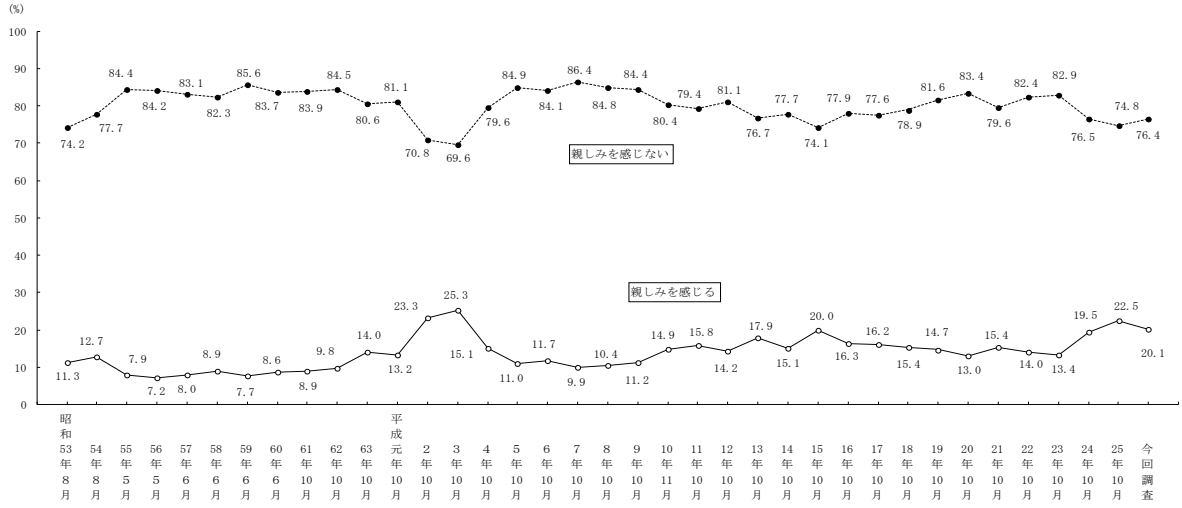
（２） 日本とロシア

ア　ロシアに対する親近感

問１－２　あなたは，ロシアに親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	22.5%	→	20.1%
・親しみを感じる	2.6%	→	2.1%
・どちらかというと親しみを感じる	19.9%	→	18.0%
・親しみを感じない（小計）	74.8%	→	76.4%
・どちらかというと親しみを感じない	49.7%	→	46.0%(減)
・親しみを感じない	25.1%	→	30.4%(増)



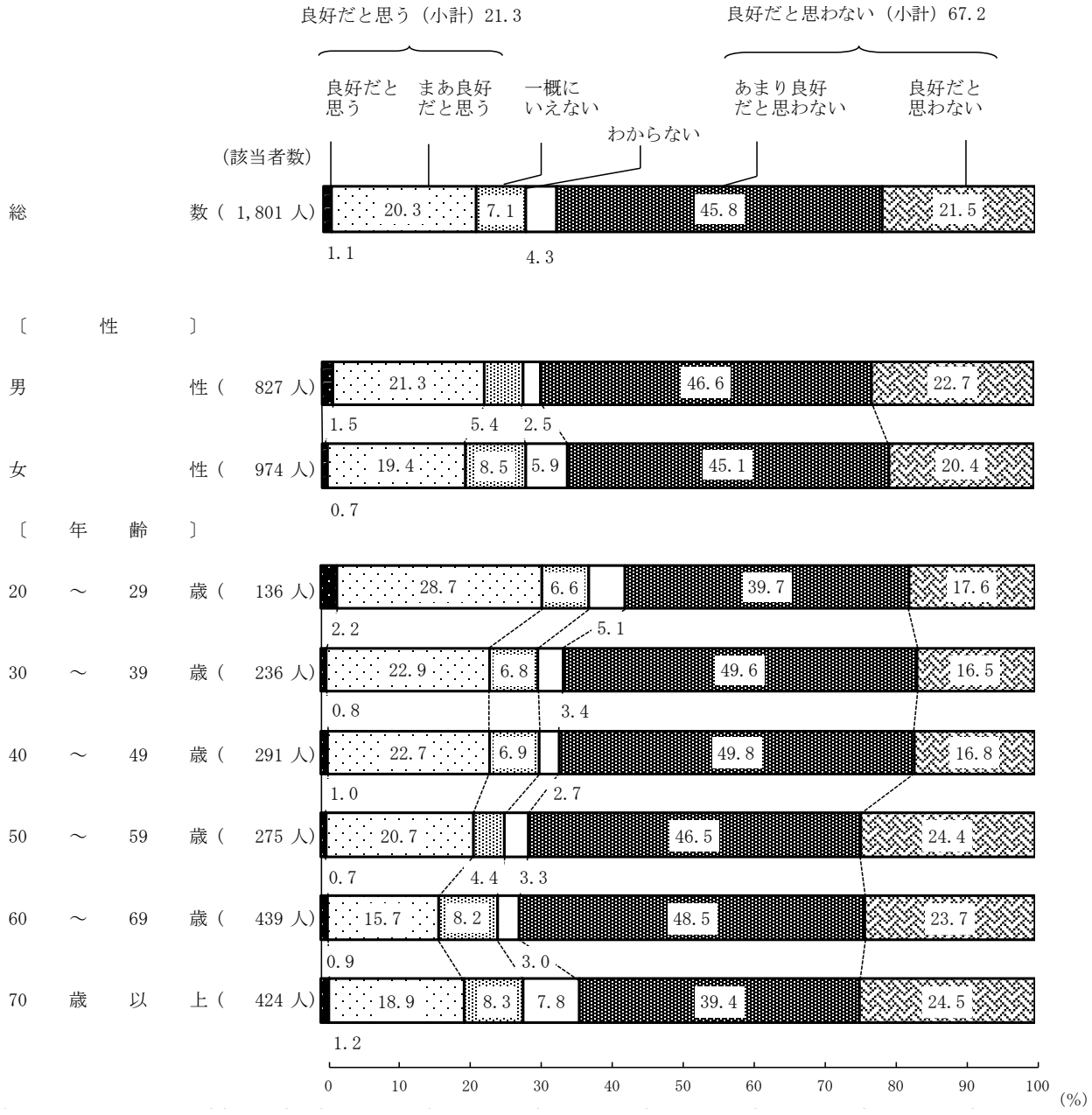


（注）　平成３年10月調査までは，「ソ連」について聞いている。

イ　現在の日本とロシアとの関係

問２－２　あなたは，現在の日本とロシアとの関係は全体として良好だと思いますか，それともそうは思いませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 26 年月 10 月
・良好だと思う（小計）	21.3%
・良好だと思う	1.1%
・まあ良好だと思う	20.3%
・良好だと思わない（小計）	67.2%
・あまり良好だと思わない	45.8%
・良好だと思わない	21.5%
・一概にいえない	7.1%

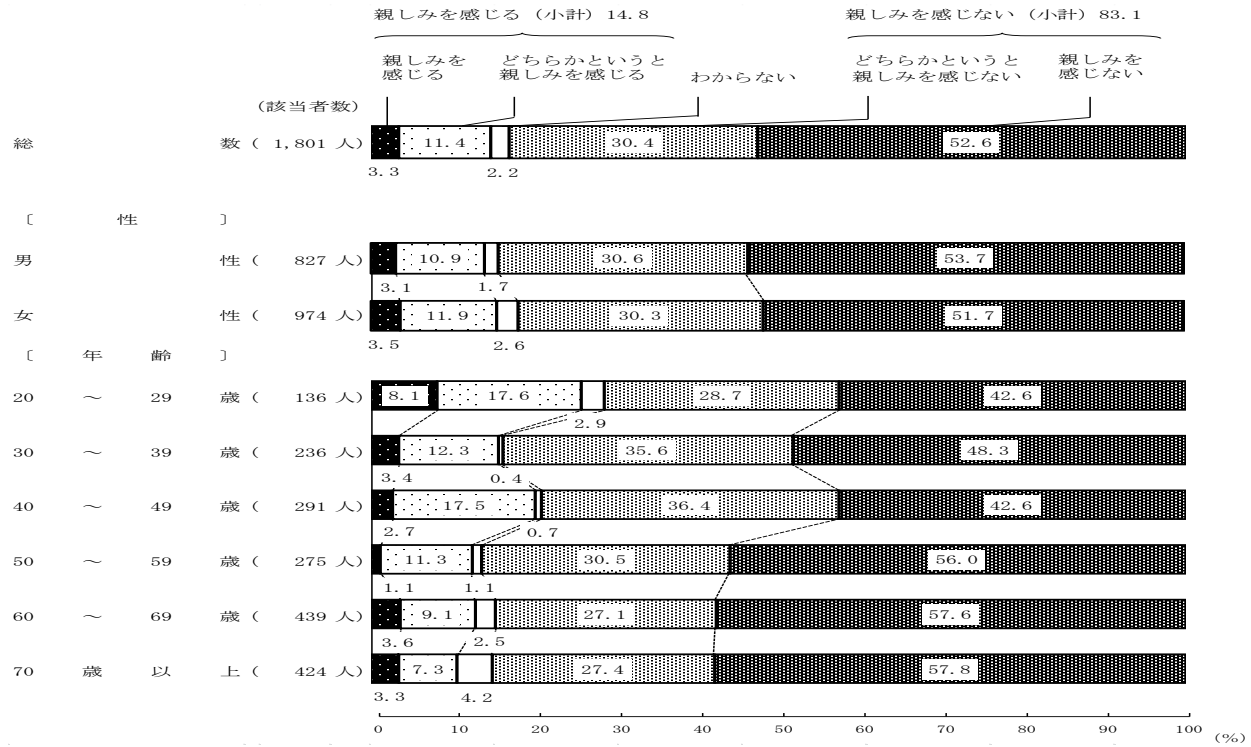


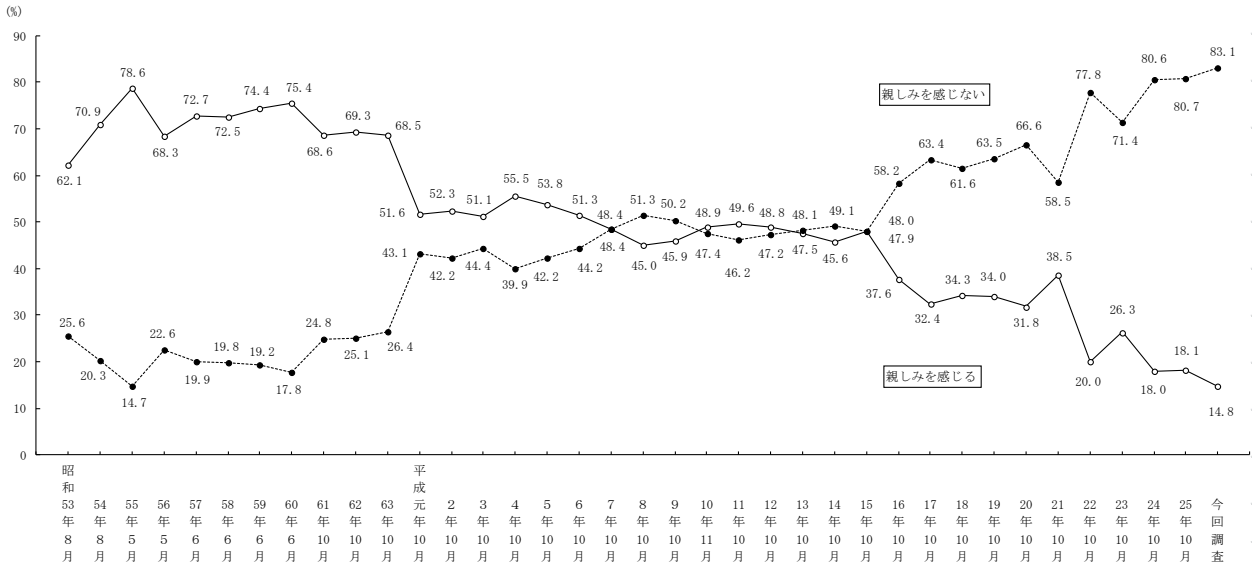
（３） 日本と中国

ア　中国に対する親近感

問１－３　あなたは，中国に親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	18.1%	→	14.8%(減)
・親しみを感じる	3.6%	→	3.3%
・どちらかというと親しみを感じる	14.5%	→	11.4%(減)
・親しみを感じない（小計）	80.7%	→	83.1%
・どちらかというと親しみを感じない	35.6%	→	30.4%(減)
・親しみを感じない	45.1%	→	52.6%(増)

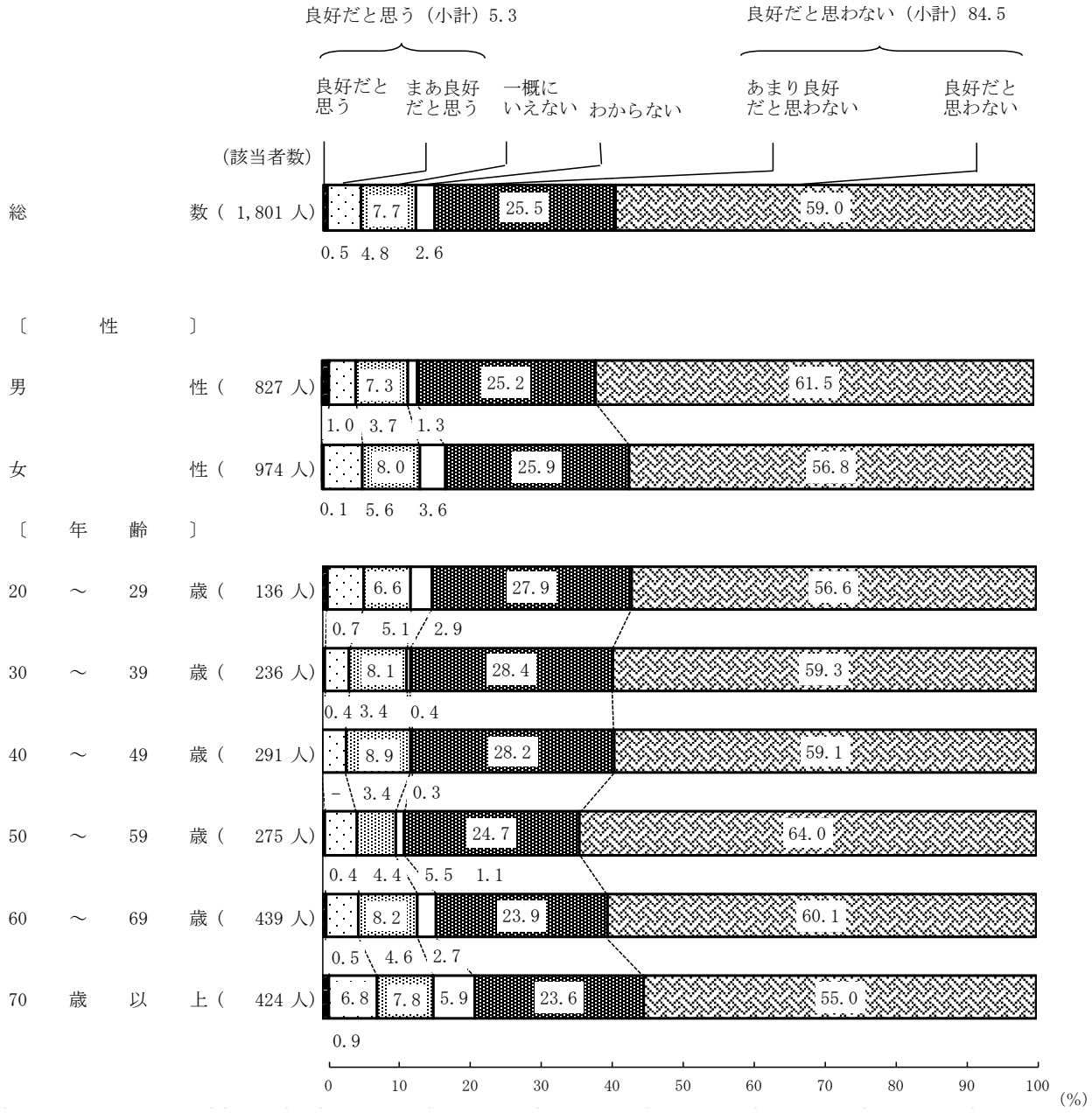




イ　現在の日本と中国との関係

問２－３　あなたは，現在の日本と中国との関係は全体として良好だと思いますか，それともそうは思いませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 26 年月 10 月
・良好だと思う（小計）	5.3%
・良好だと思う	0.5%
・まあ良好だと思う	4.8%
・良好だと思わない（小計）	84.5%
・あまり良好だと思わない	25.5%
・良好だと思わない	59.0%
・一概にいえない	7.7%

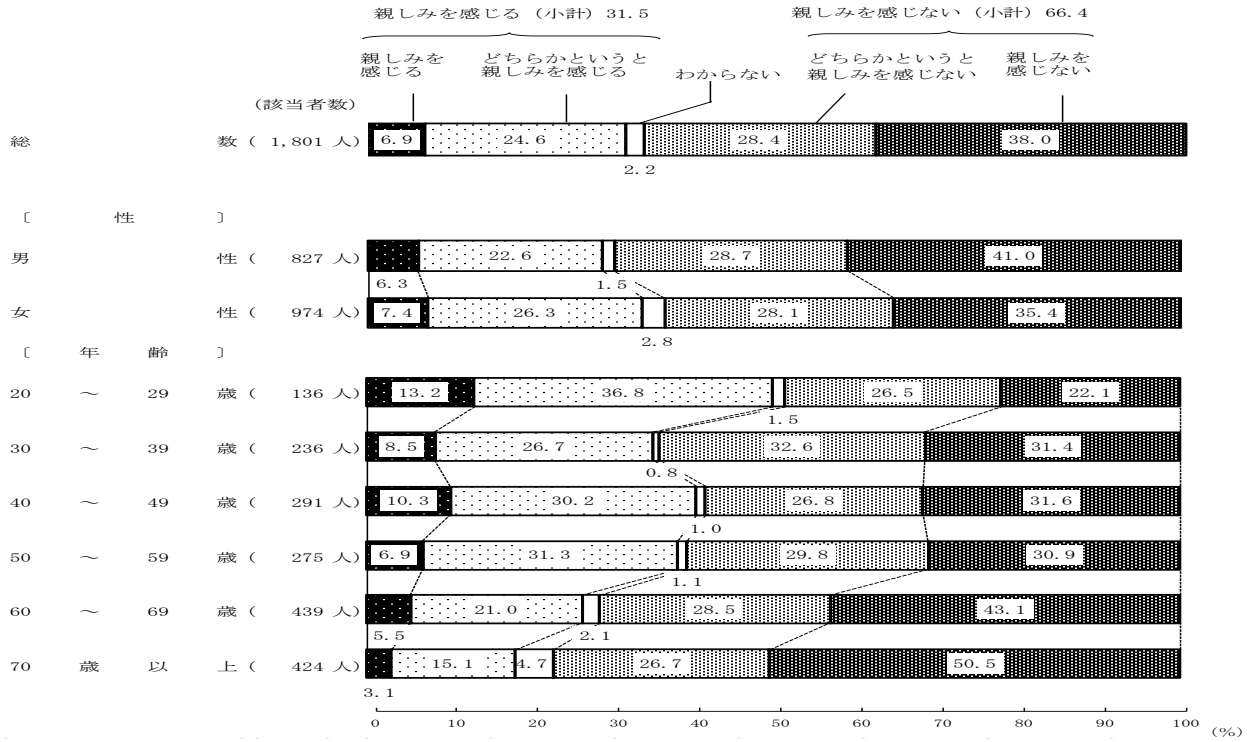


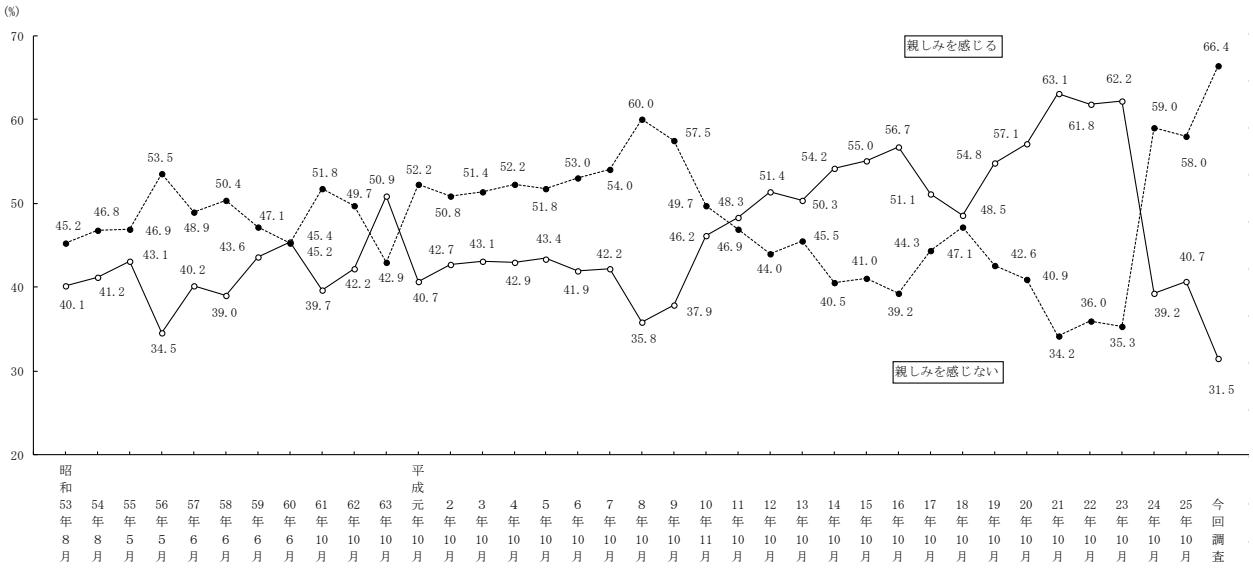
（４） 日本と韓国

ア　韓国に対する親近感

問１－４　あなたは，韓国に親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	40.7%	→	31.5%(減)
・親しみを感じる	8.4%	→	6.9%
・どちらかというと親しみを感じる	32.3%	→	24.6%(減)
・親しみを感じない（小計）	58.0%	→	66.4%(増)
・どちらかというと親しみを感じない	31.7%	→	28.4%(減)
・親しみを感じない	26.4%	→	38.0%(増)

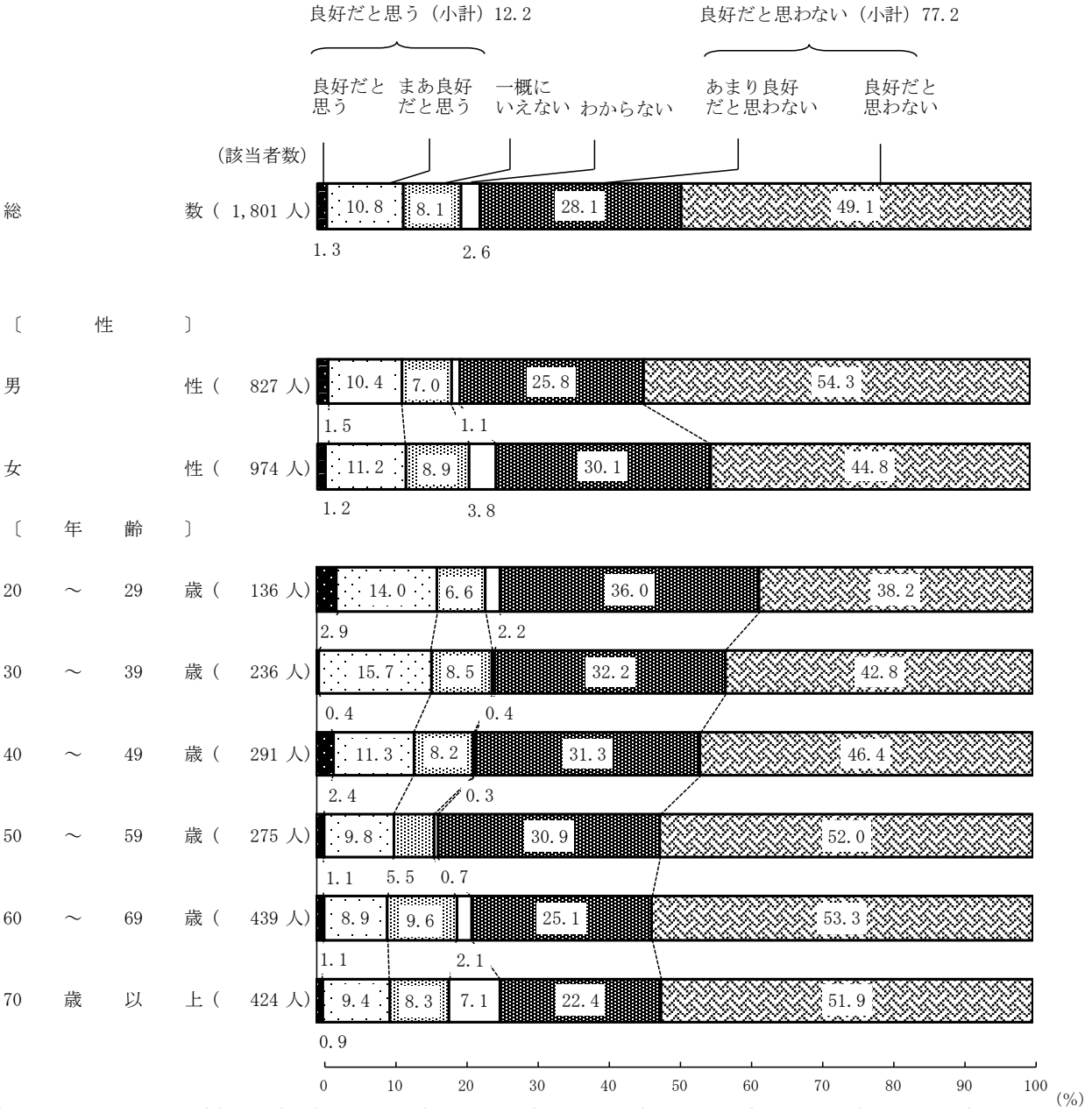




イ　現在の日本と韓国との関係

問２－４　あなたは，現在の日本と韓国との関係は全体として良好だと思いますか，それともそうは思いませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 26 年月 10 月
・良好だと思う（小計）	12.2%
・良好だと思う	1.3%
・まあ良好だと思う	10.8%
・良好だと思わない（小計）	77.2%
・あまり良好だと思わない	28.1%
・良好だと思わない	49.1%
・一概にいえない	8.1%

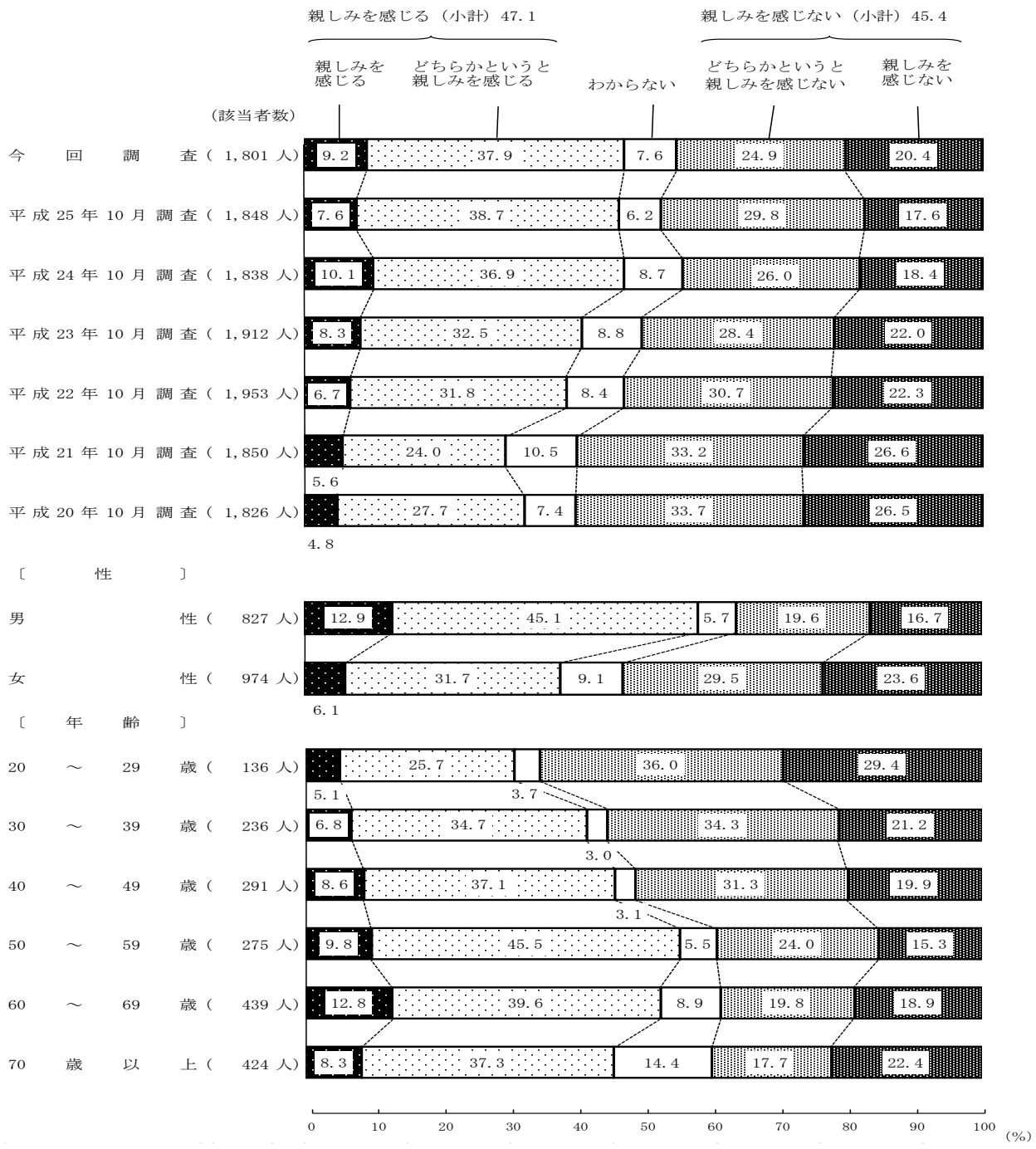


（５） 日本とインド

ア　インドに対する親近感

問１－５　あなたは，インドに親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

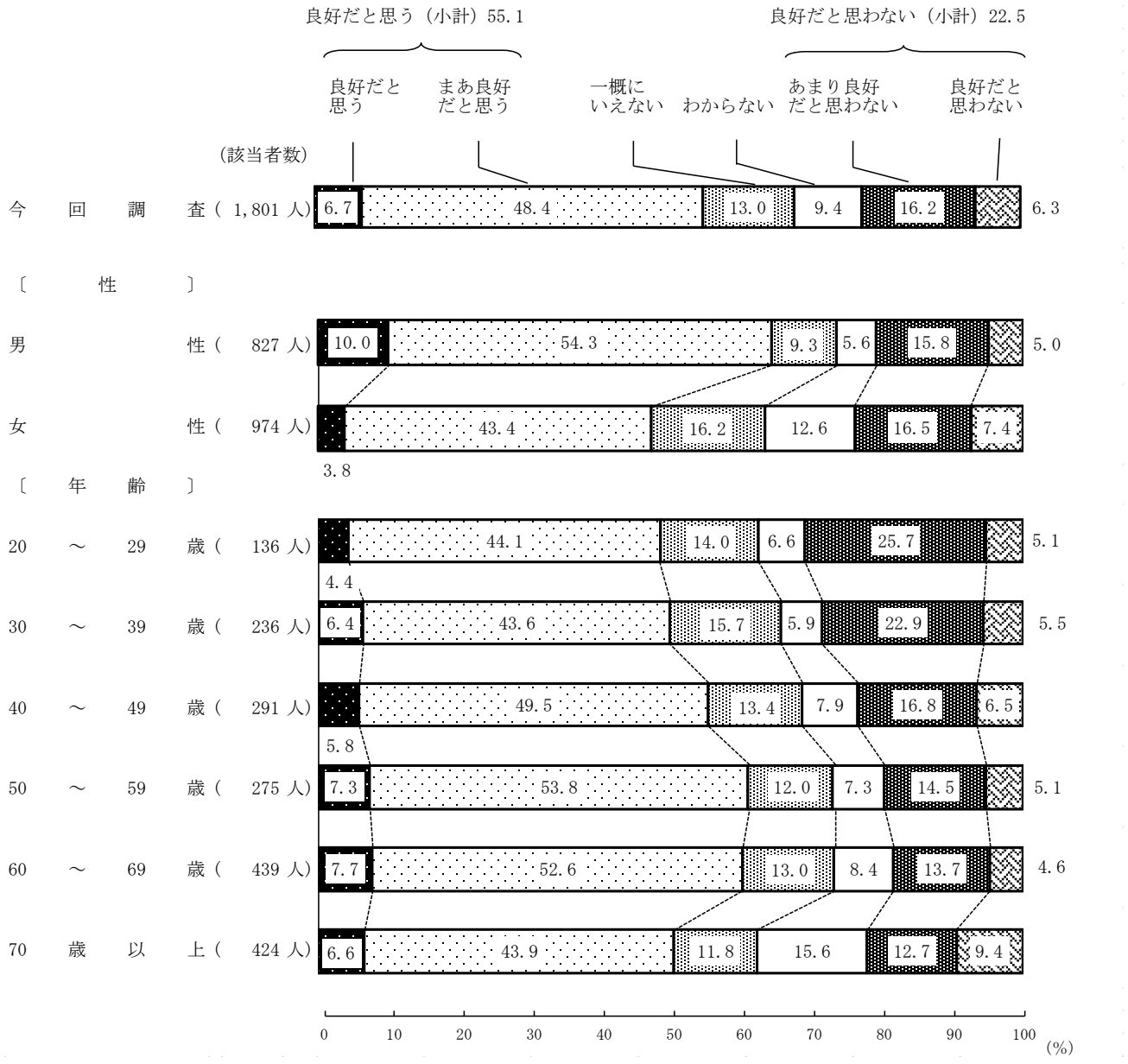
	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	46.3%	→	47.1%
・親しみを感じる	7.6%	→	9.2%
・どちらかというと親しみを感じる	38.7%	→	37.9%
・親しみを感じない（小計）	47.5%	→	45.4%
・どちらかというと親しみを感じない	29.8%	→	24.9%(減)
・親しみを感じない	17.6%	→	20.4%(増)



イ　現在の日本とインドとの関係

問２－５　あなたは，現在の日本とインドとの関係は全体として良好だと思いますか，それともそうは思いませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 26 年月 10 月
・良好だと思う（小計）	55.1%
・良好だと思う	6.7%
・まあ良好だと思う	48.4%
・良好だと思わない（小計）	22.5%
・あまり良好だと思わない	16.2%
・良好だと思わない	6.3%
・一概にいえない	13.0%

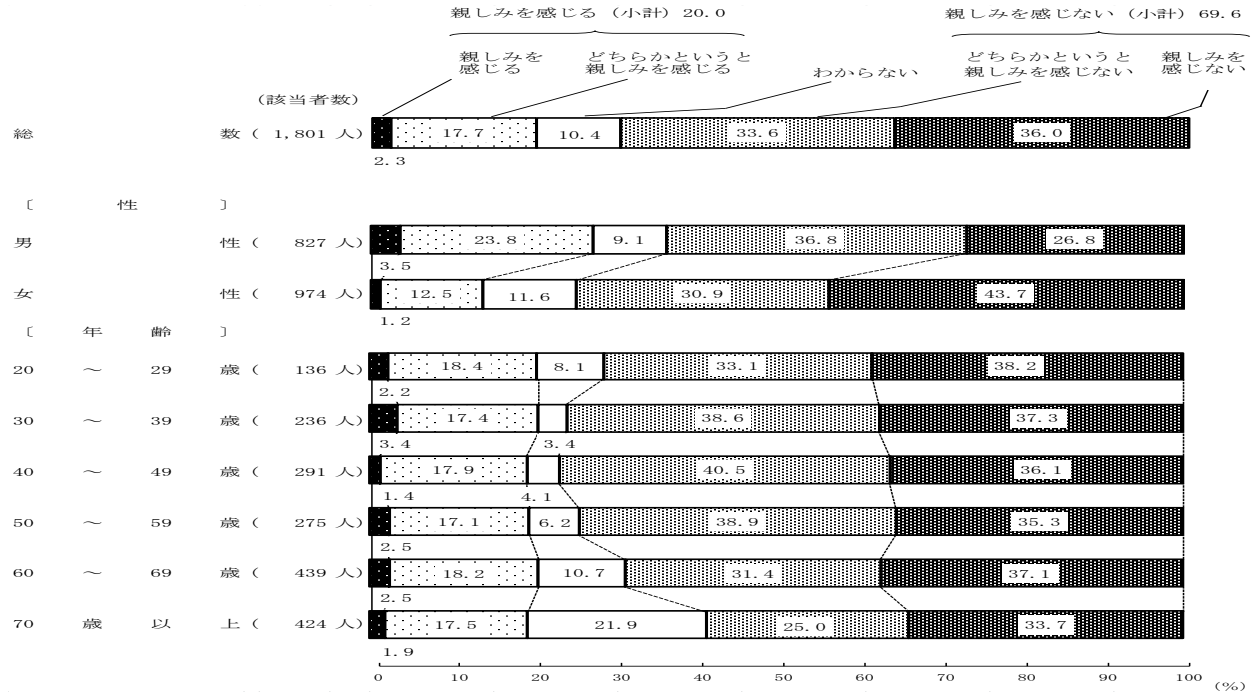


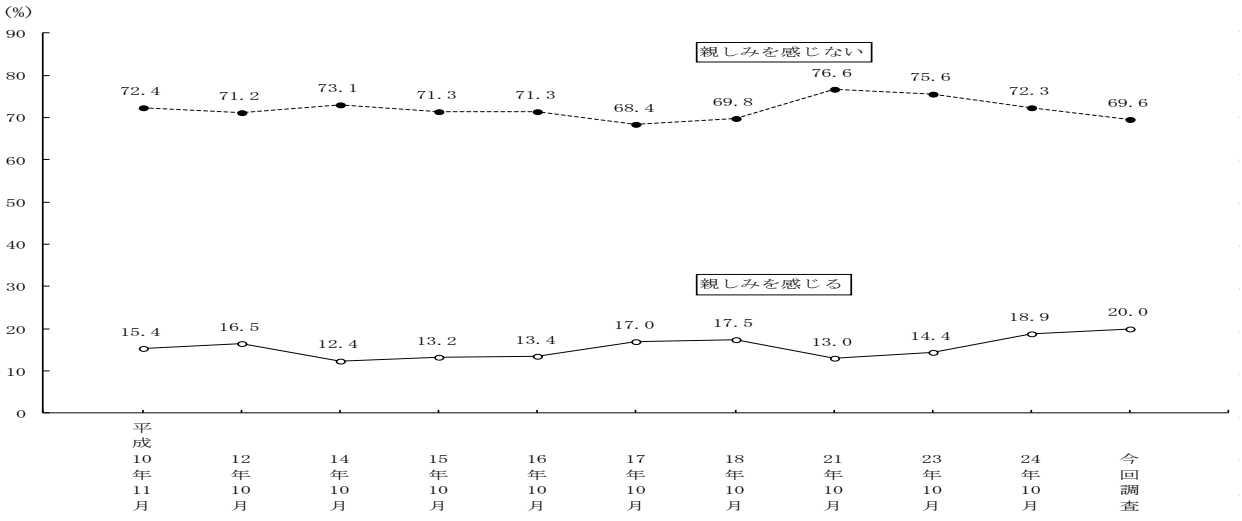
（６） 日本と中東諸国

○　中東諸国に対する親近感

問１－６　あなたは，中東諸国に親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 24 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	18.9%	→	20.0%
・親しみを感じる	2.3%	→	2.3%
・どちらかというと親しみを感じる	16.6%	→	17.7%
・親しみを感じない（小計）	72.3%	→	69.6%
・どちらかというと親しみを感じない	39.5%	→	33.6%(減)
・親しみを感じない	32.8%	→	36.0%(増)
わからない	8.8%	→	10.4%





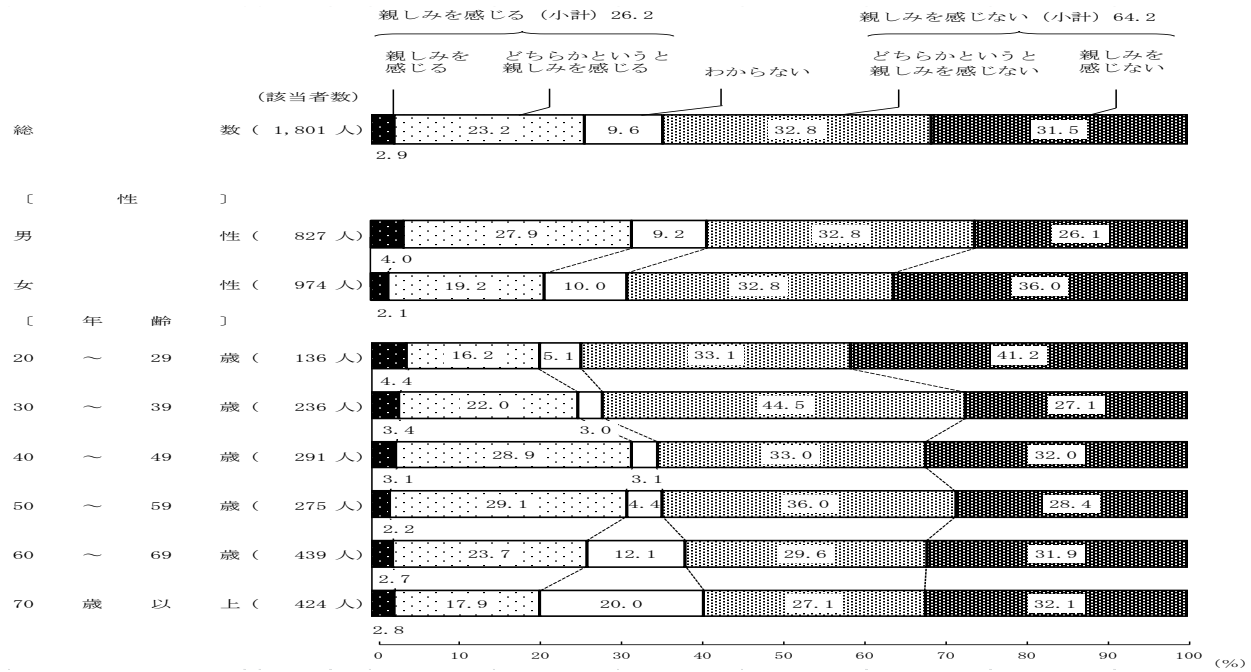
（注） 平成15年10月調査までは，「中近東諸国」について聞いている。

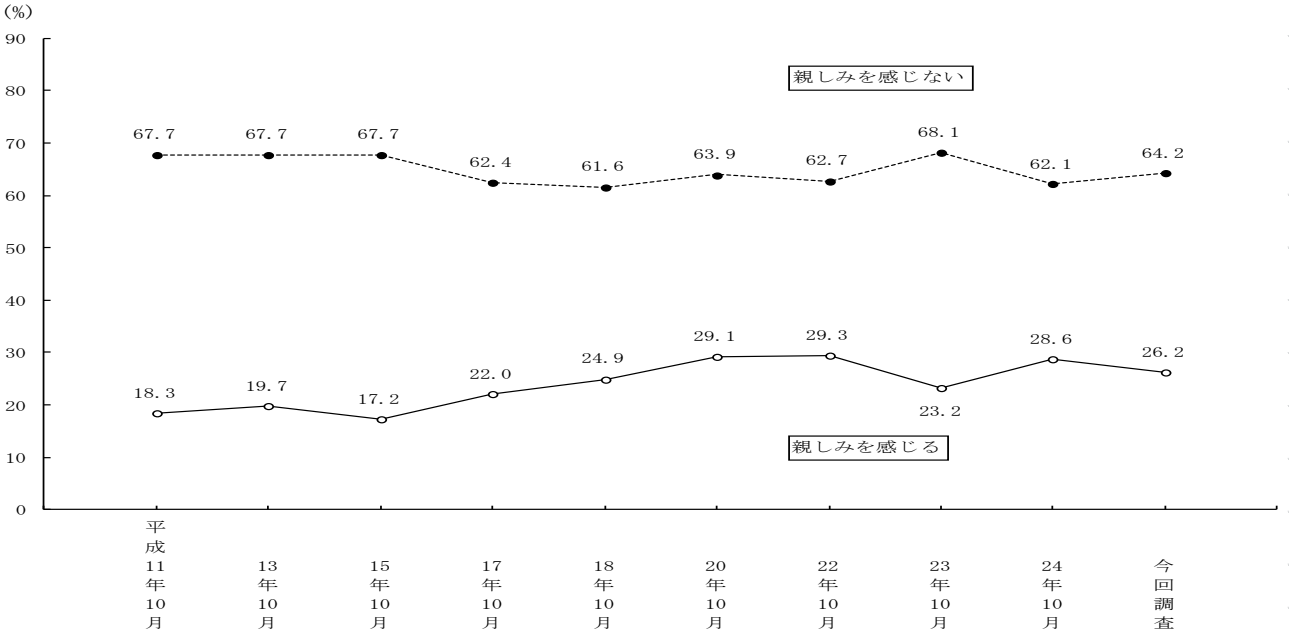
（７） 日本とアフリカ諸国

○ アフリカ諸国に対する親近感

問１－７　あなたは，アフリカ諸国に親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 24 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	28.6%	→	26.2%
・親しみを感じる	4.8%	→	2.9%(減)
・どちらかというと親しみを感じる	23.8%	→	23.2%
・親しみを感じない（小計）	62.1%	→	64.2%
・どちらかというと親しみを感じない	36.7%	→	32.8%(減)
・親しみを感じない	25.4%	→	31.5%(増)



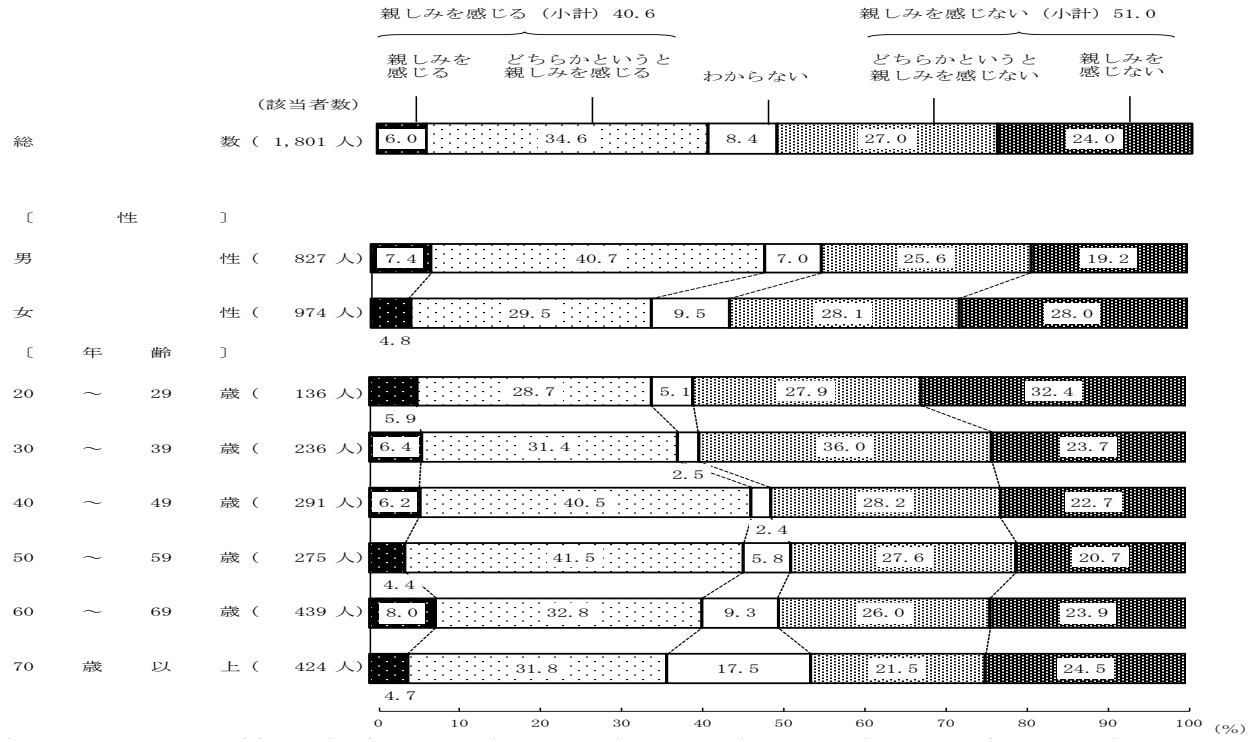


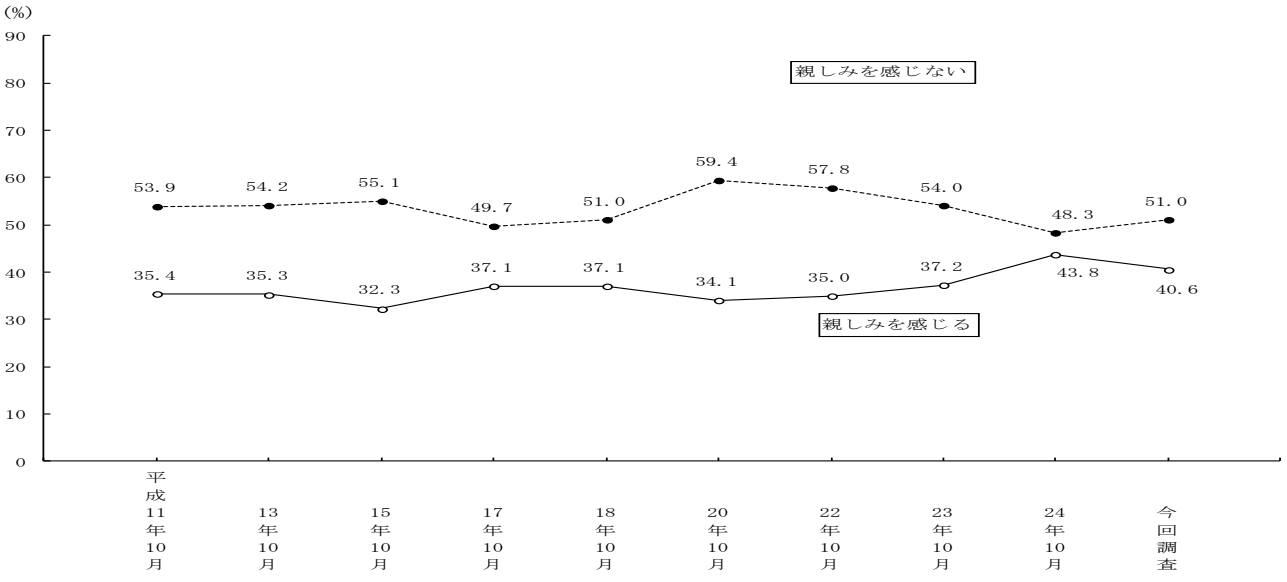
（８） 日本と中南米・カリブ諸国

○　中南米・カリブ諸国に対する親近感

問１－８　あなたは，中南米・カリブ諸国に親しみを感じますか，それとも感じませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 24 年 10 月		平成 26 年 10 月
・親しみを感じる（小計）	43.8%	→	40.6%
・親しみを感じる	8.3%	→	6.0%(減)
・どちらかというと親しみを感じる	35.5%	→	34.6%
・親しみを感じない（小計）	48.3%	→	51.0%
・どちらかというと親しみを感じない	32.5%	→	27.0%(減)
・親しみを感じない	15.8%	→	24.0%(増)





（注） 平成15年10月調査までは，「中南米諸国」について聞いている。

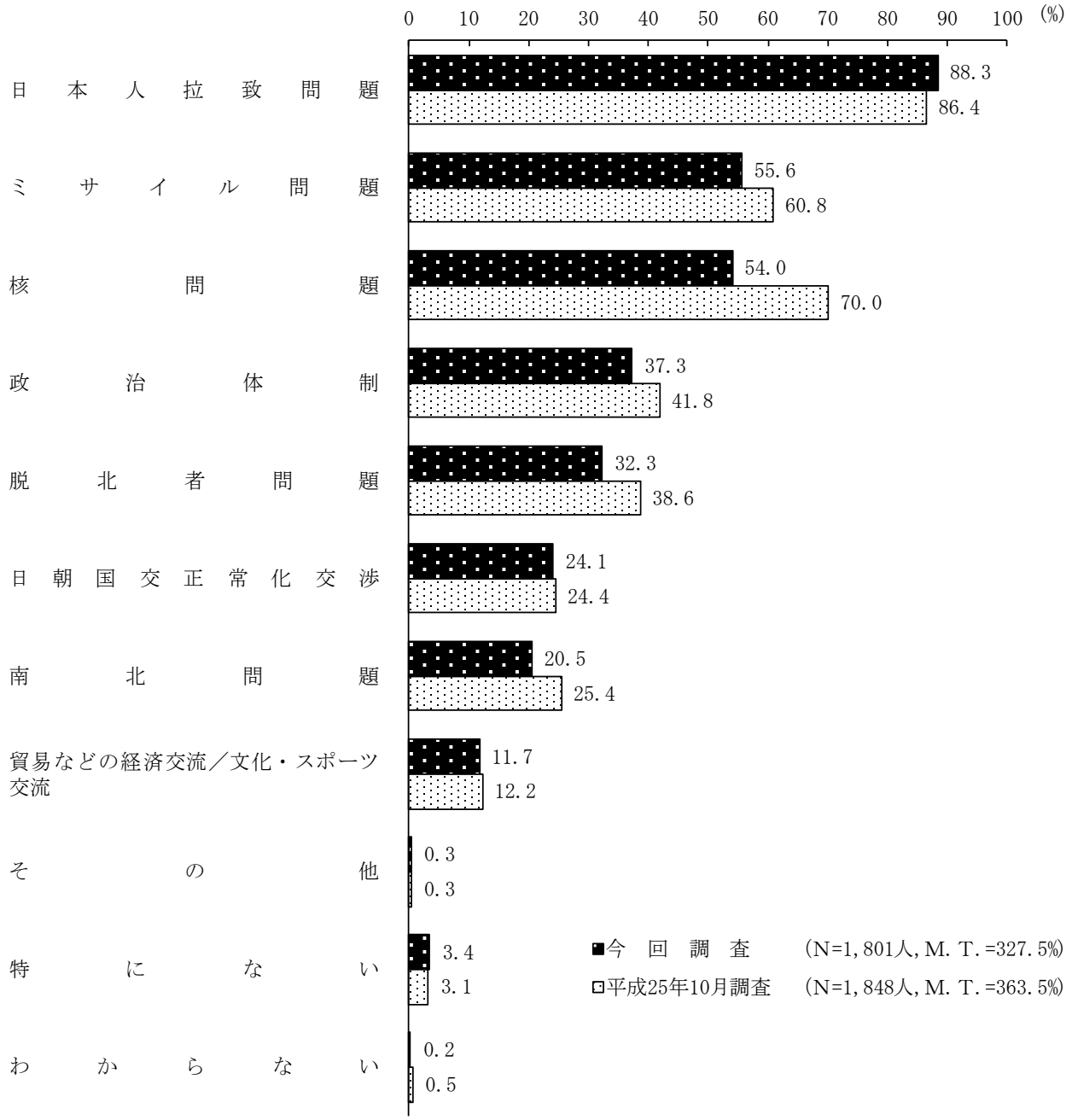
（９） 北朝鮮への関心事項

問３　あなたが北朝鮮のことについて関心を持っていることがありましたら，この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位４項目）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・日本人拉致問題	86.4%	→	88.3%
・ミサイル問題	60.8%	→	55.6%（減）
・核問題	70.0%	→	54.0%（減）
・政治体制	41.8%	→	37.3%（減）

（複数回答）

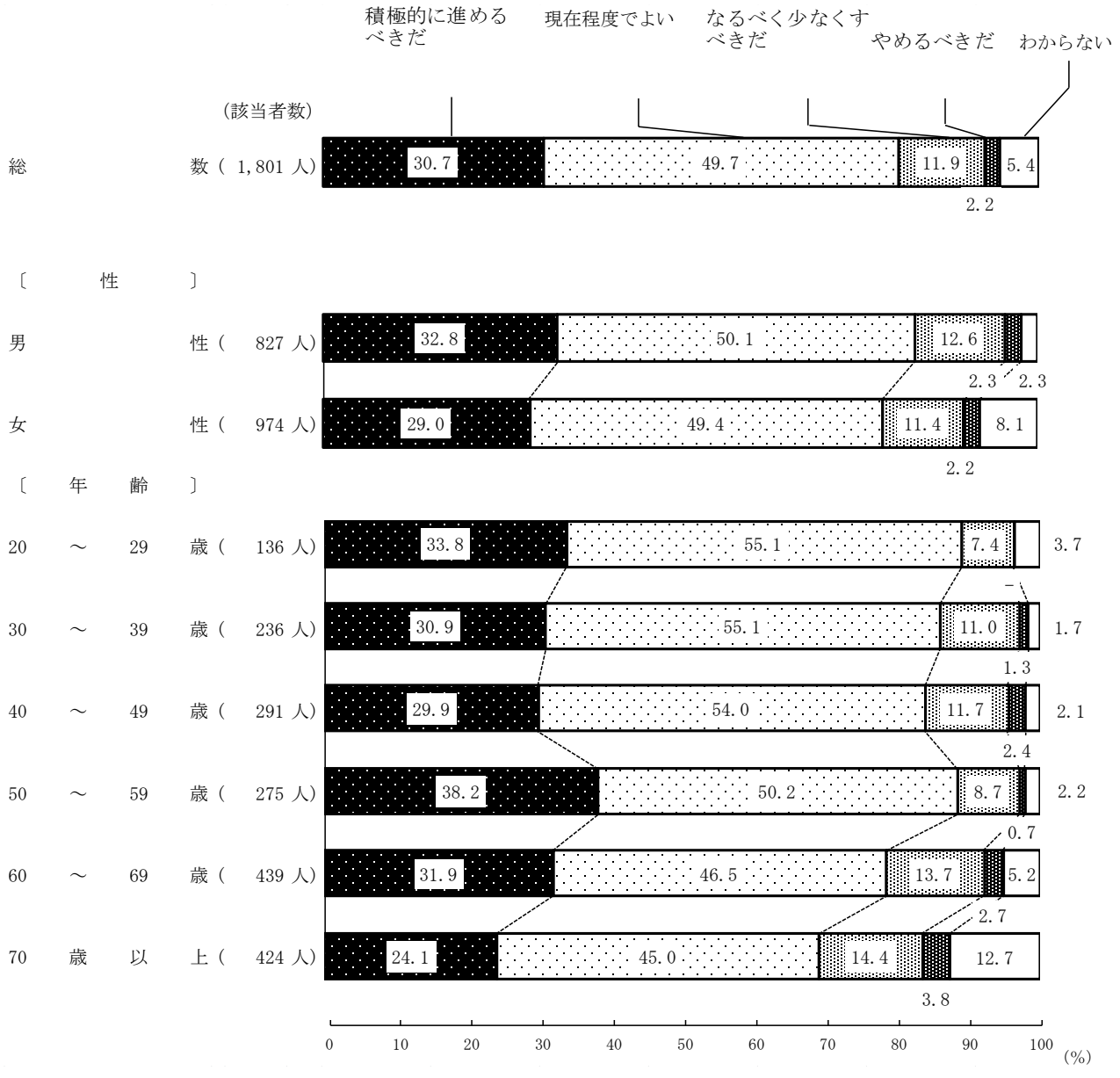


2　開発協力

（１）今後の開発協力のあり方

問４　先進国は開発途上国に対して資金協力や技術協力などの開発協力を行っていますが，あなたは，いろいろな面から考えて，日本のこれからの開発協力についてどのようにお考えですか。この中ではどうでしょうか。

	平成 26 年 10 月
・積極的に進めるべきだ	30.7%
・現在程度でよい	49.7%
・なるべく少なくすべきだ	11.9%
・やめるべきだ	2.2%



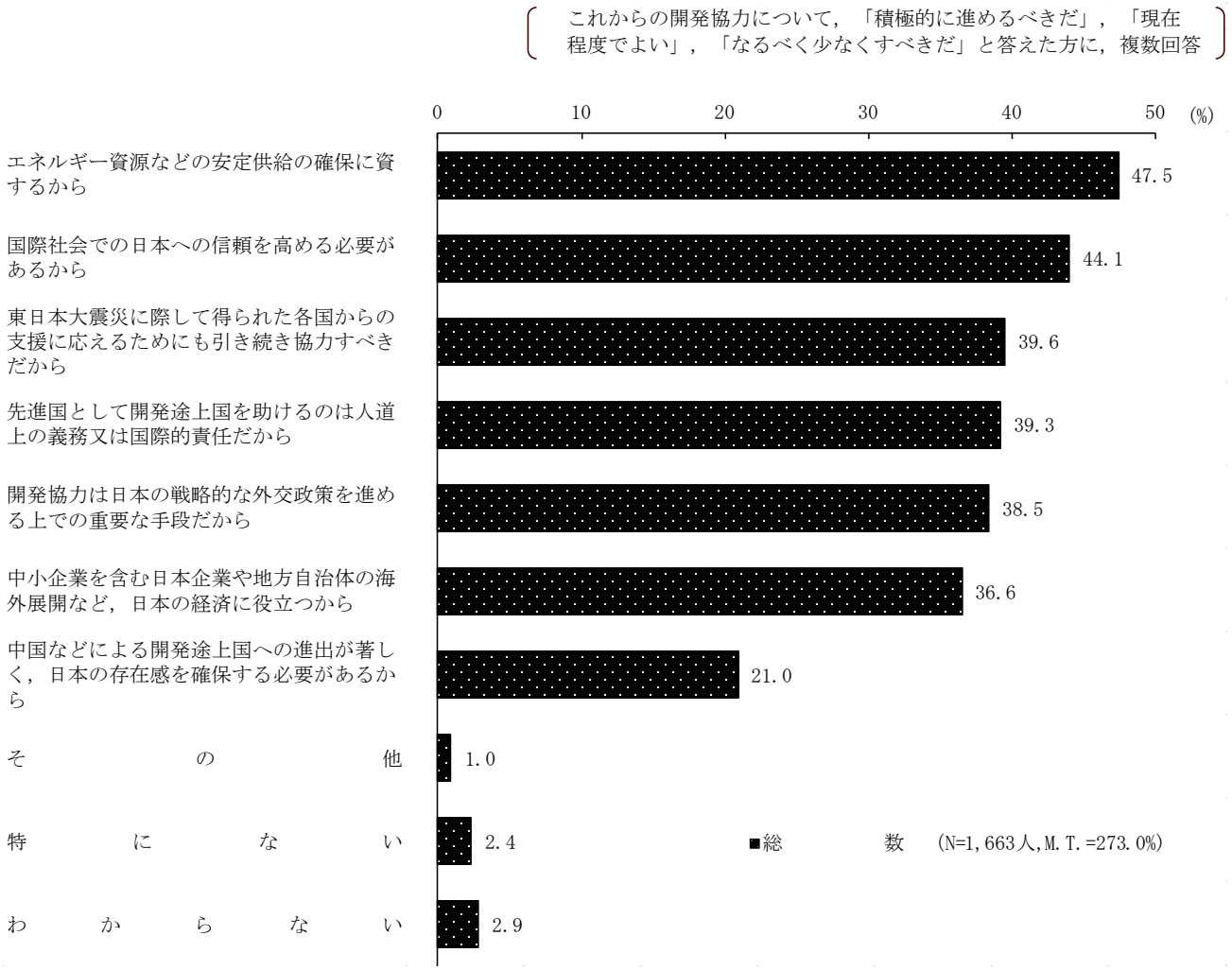
ア　開発協力を実施すべき観点

更問　（問４で「積極的に進めるべきだ」,「現在程度でよい」,「なるべく少なくすべきだ」と答えた方(1,663 人)に))

では，あなたは，こうした開発協力による開発途上国への支援について，どのような観点から実施すべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位６項目）
平成 26 年 10 月

・エネルギー資源などの安定供給の確保に資するから	47.5%
・国際社会での日本への信頼を高める必要があるから	44.1%
・東日本大震災に際して得られた各国からの支援に応えるためにも引き続き協力すべきだから	39.6%
・先進国として開発途上国を助けるのは人道上の義務又は国際的責任だから	39.3%
・開発協力は日本の戦略的な外交政策を進める上での重要な手段だから	38.5%
・中小企業を含む日本企業や地方自治体の海外展開など，日本の経済に役立つから	36.6%

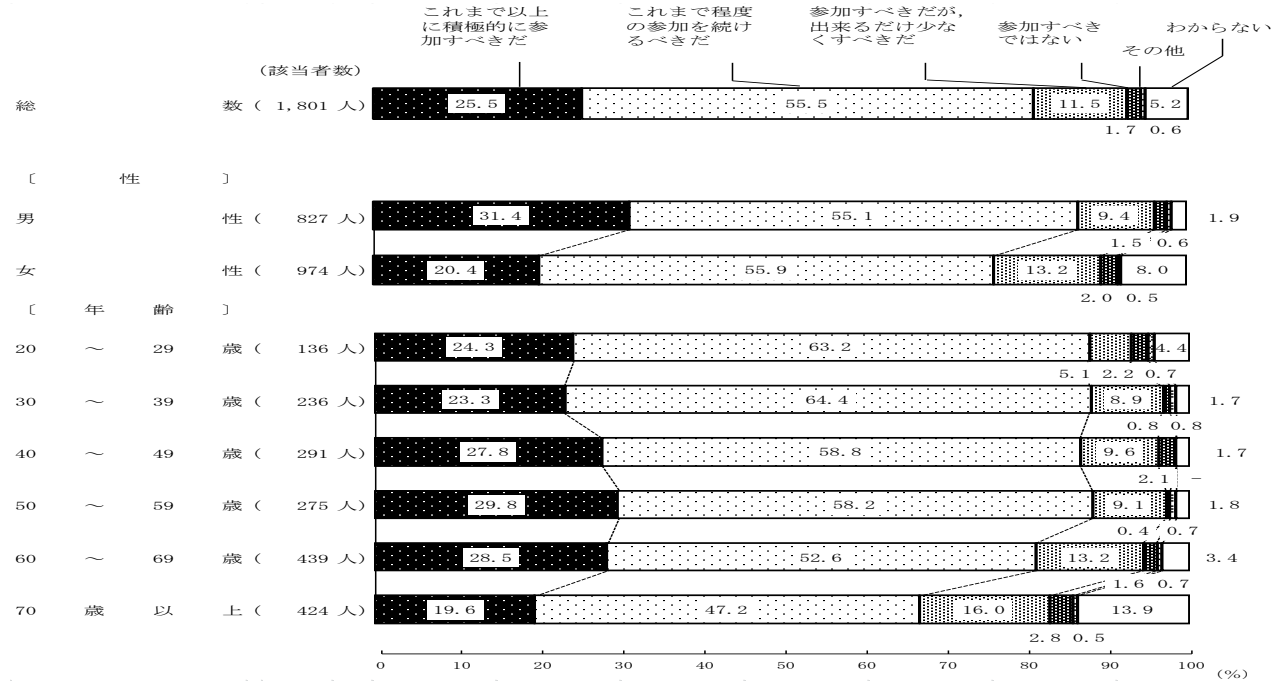


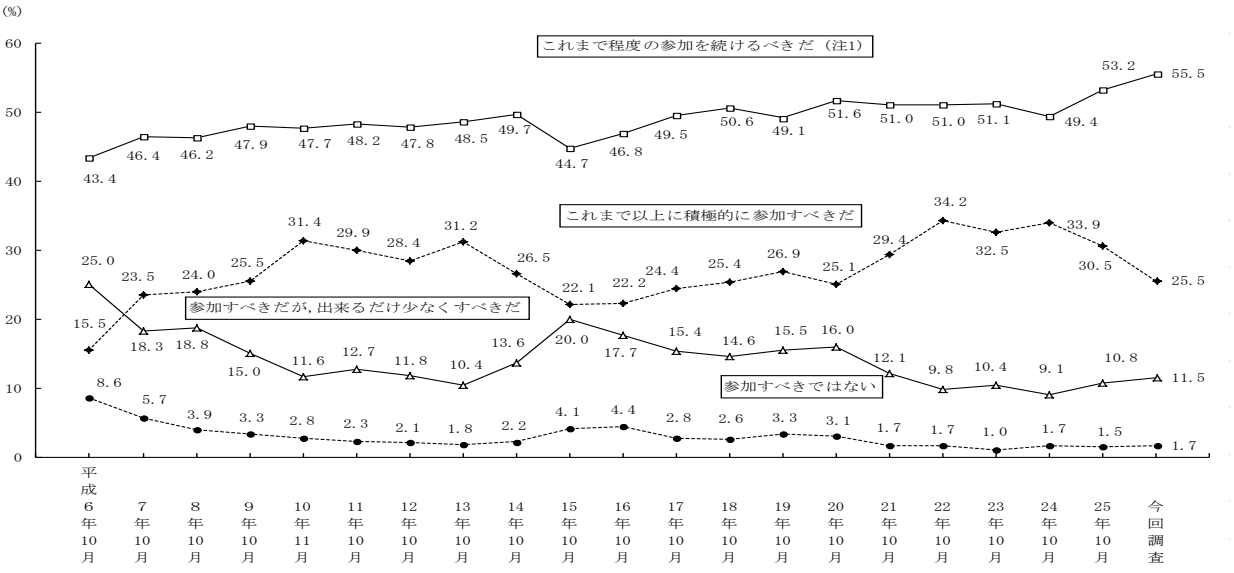
3　国連における日本の役割

（１） 国連平和維持活動への参加についての考え方

問５　現在，世界の１００以上の国が国連平和維持活動（国連ＰＫＯ）に要員を派遣しています。日本も国際平和協力法に基づき，カンボジア，ゴラン高原，東ティモール，ハイチ，南スーダンなどの国連ＰＫＯや，イラク難民支援などのための人道的な国際救援活動や，東ティモールやネパールなどでの国際的な選挙監視活動に参加してきています。日本はこれからも，国際社会への人的貢献として，こうした活動に参加すべきとお考えになりますか。それともそうはお考えになりませんか。この中ではどうでしょうか。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・これまで以上に積極的に参加すべきだ	30.5%	→	25.5%(減)
・これまで程度の参加を続けるべきだ	53.2%	→	55.5%
・参加すべきだが，出来るだけ少なくすべきだ	10.8%	→	11.5%
・参加すべきではない	1.5%	→	1.7%



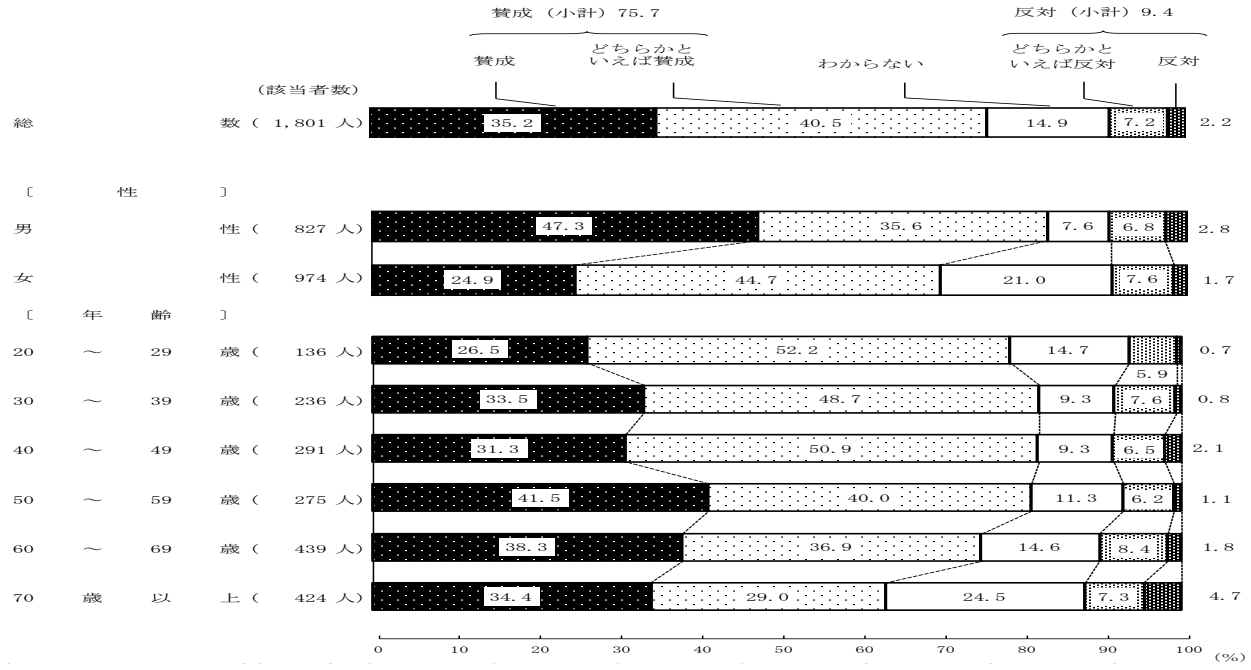


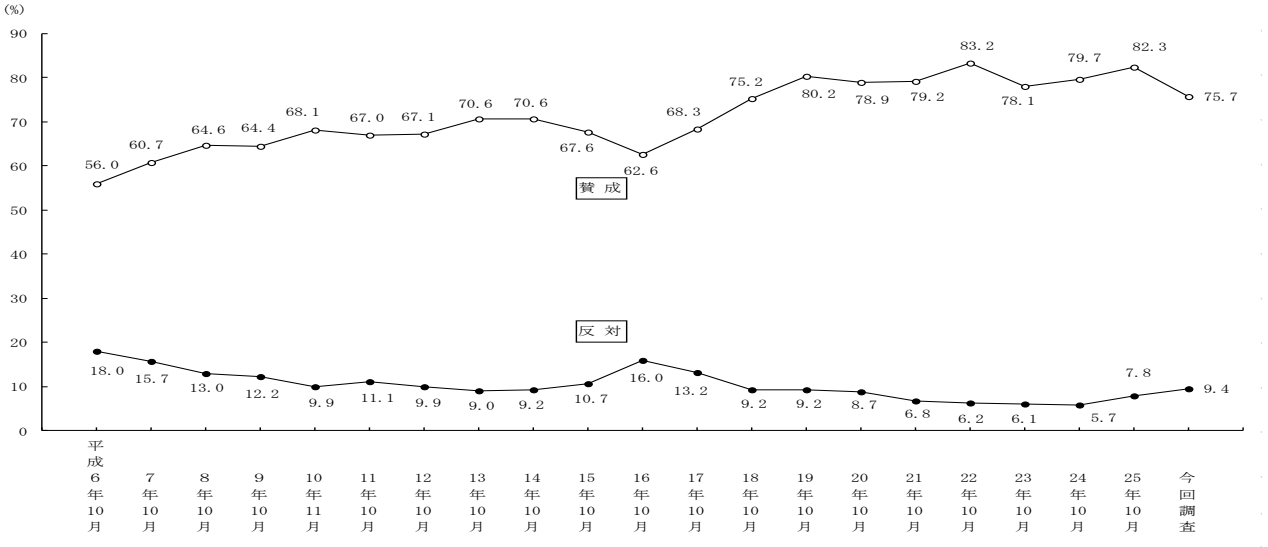
（注１）平成６年10月調査では，「現在程度の参加を続けるべきだ」となっている。

（２） 国連安全保障理事会の常任理事国入りについての賛否

問６　国連では，安全保障理事会（安保理）の機能を強化するとともに，安保理における各地域の代表性を高めるために，構成国数を増加する方向で議論がすすめられています。あなたは，日本が安保理の常任理事国に加わることについてどうお考えになりますか。この中ではどうでしょうか。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年月 10 月
・賛成（小計）	82.3%	→	75.7%(減)
・賛成	42.3%	→	35.2%(減)
・どちらかといえば賛成	39.9%	→	40.5%
・反対（小計）	7.8%	→	9.4%
・どちらかといえば反対	6.3%	→	7.2%
・反対	1.5%	→	2.2%
わからない	9.9%	→	14.9%(増)

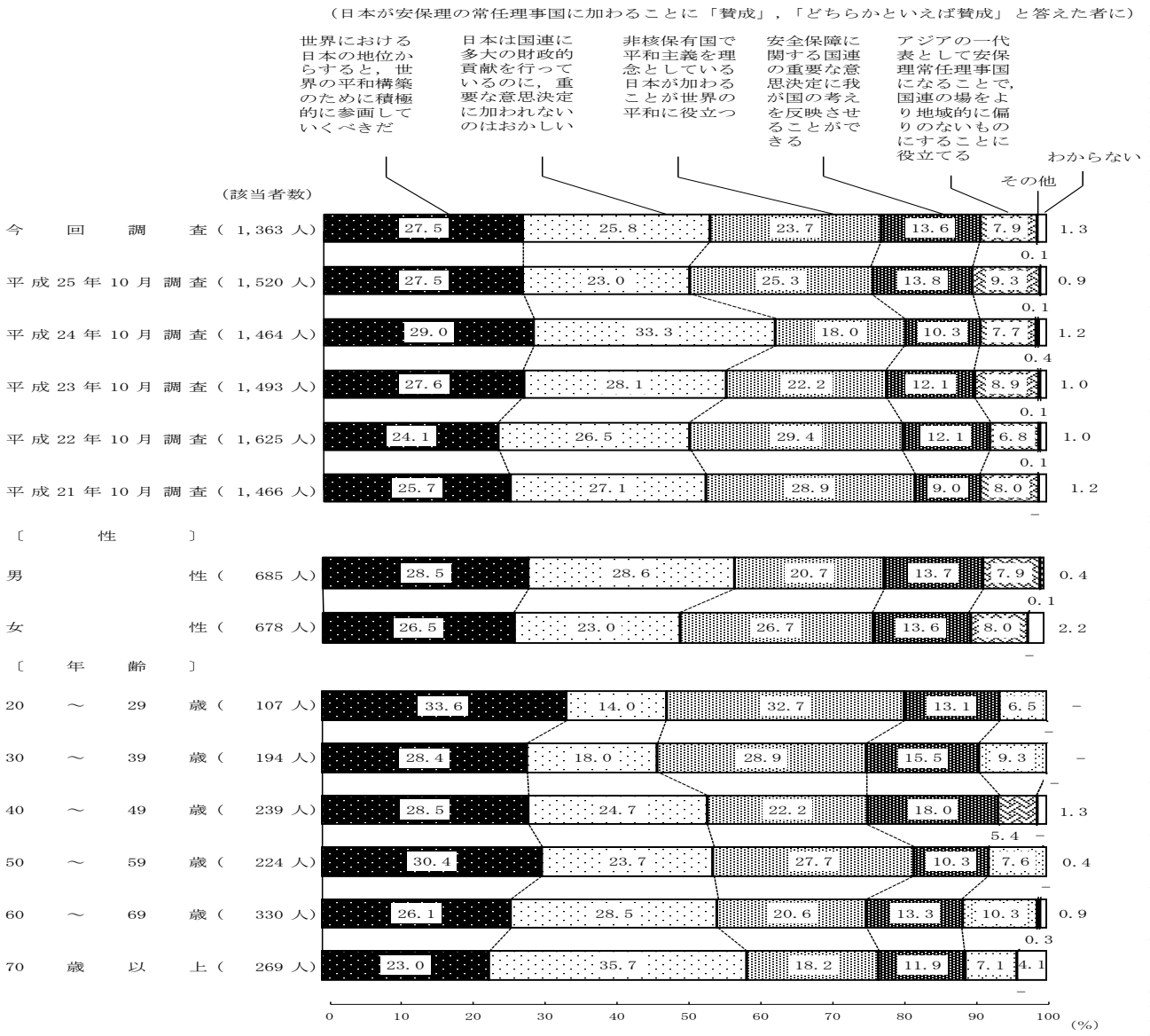




ア　日本の常任理事国入りに賛成する理由

更問　（問６で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた方(1,363 人)に））
では，あなたがそのようにお考えになるのはどうしてでしょうか。この中から１つだけあげてください。

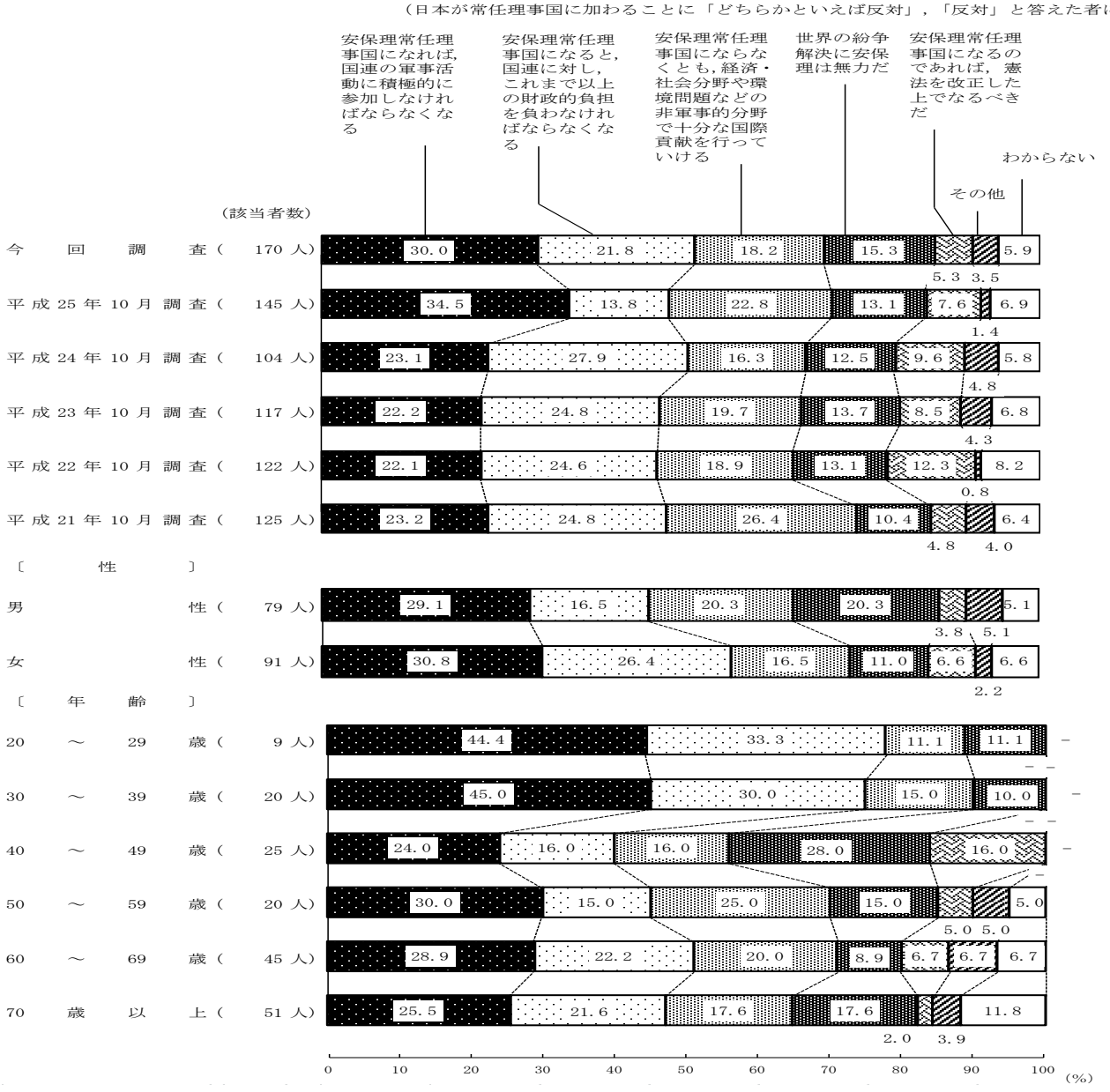
	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・世界における日本の地位からすると，世界の平和構築のために積極的に参画していくべきだ	27.5%	→	27.5%
・日本は国連に多大の財政的貢献を行っているのに，重要な意思決定に加われないのはおかしい	23.0%	→	25.8%
・非核保有国で平和主義を理念としている日本が加わることが世界の平和に役立つ	25.3%	→	23.7%
・安全保障に関する国連の重要な意思決定に我が国の考えを反映させることができる	13.8%	→	13.6%
・アジアの一代表として安保理常任理事国になることで，国連の場をより地域的に偏りのないものにすることに役立てる	9.3%	→	7.9%



イ　日本の常任理事国入りに反対する理由

更問　（問６で「反対」、「どちらかといえば反対」と答えた方(170 人)に））
では，あなたがそのようにお考えになるのはどうしてでしょうか。この中から１つだけあげてください。

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・安保理常任理事国になれば，国連の軍事活動に積極的に参加しなければならなくなる	34.5%	→	30.0%
・安保理常任理事国になると，国連に対し，これまで以上の財政的負担を負わなければならなくなる	13.8%	→	21.8%
・安保理常任理事国にならなくとも，経済・社会分野や環境問題などの非軍事的分野で十分な国際貢献を行っていける	22.8%	→	18.2%
・世界の紛争解決に安保理は無力だ	13.1%	→	15.3%
・安保理常任理事国になるのであれば，憲法を改正した上でなるべきだ	7.6%	→	5.3%



4　対外経済

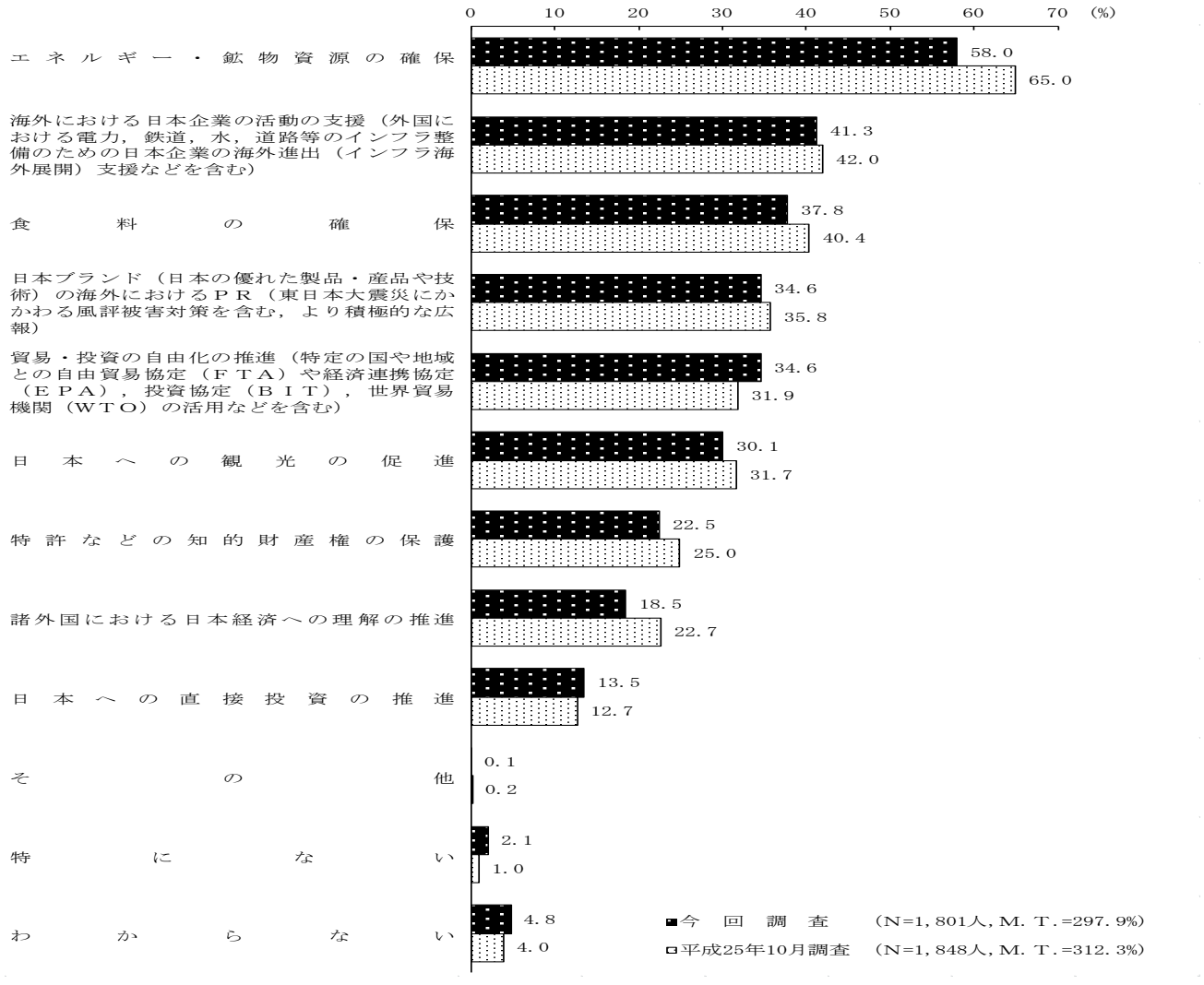
（１） 対外経済で重点を置くべき分野

問７　外国との経済関係を進める上で，どの分野に重点を置くべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位５項目）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・エネルギー・鉱物資源の確保	65.0%	→	58.0%(減)
・海外における日本企業の活動の支援（外国における電力，鉄道，水，道路等のインフラ整備のための日本企業の海外進出（インフラ海外展開）支援などを含む）	42.0%	→	41.3%
・食料の確保	40.4%	→	37.8%
・日本ブランド（日本の優れた製品・産品や技術）の海外におけるＰＲ（東日本大震災にかかわる風評被害対策を含む，より積極的な広報）	35.8%	→	34.6%
・貿易・投資の自由化の推進（特定の国や地域との自由貿易協定（ＦＴＡ）や経済連携協定（ＥＰＡ），投資協定（ＢＩＴ），世界貿易機関（ＷＴＯ）の活用などを含む）	31.9%	→	34.6%

（複数回答）



５　文化交流

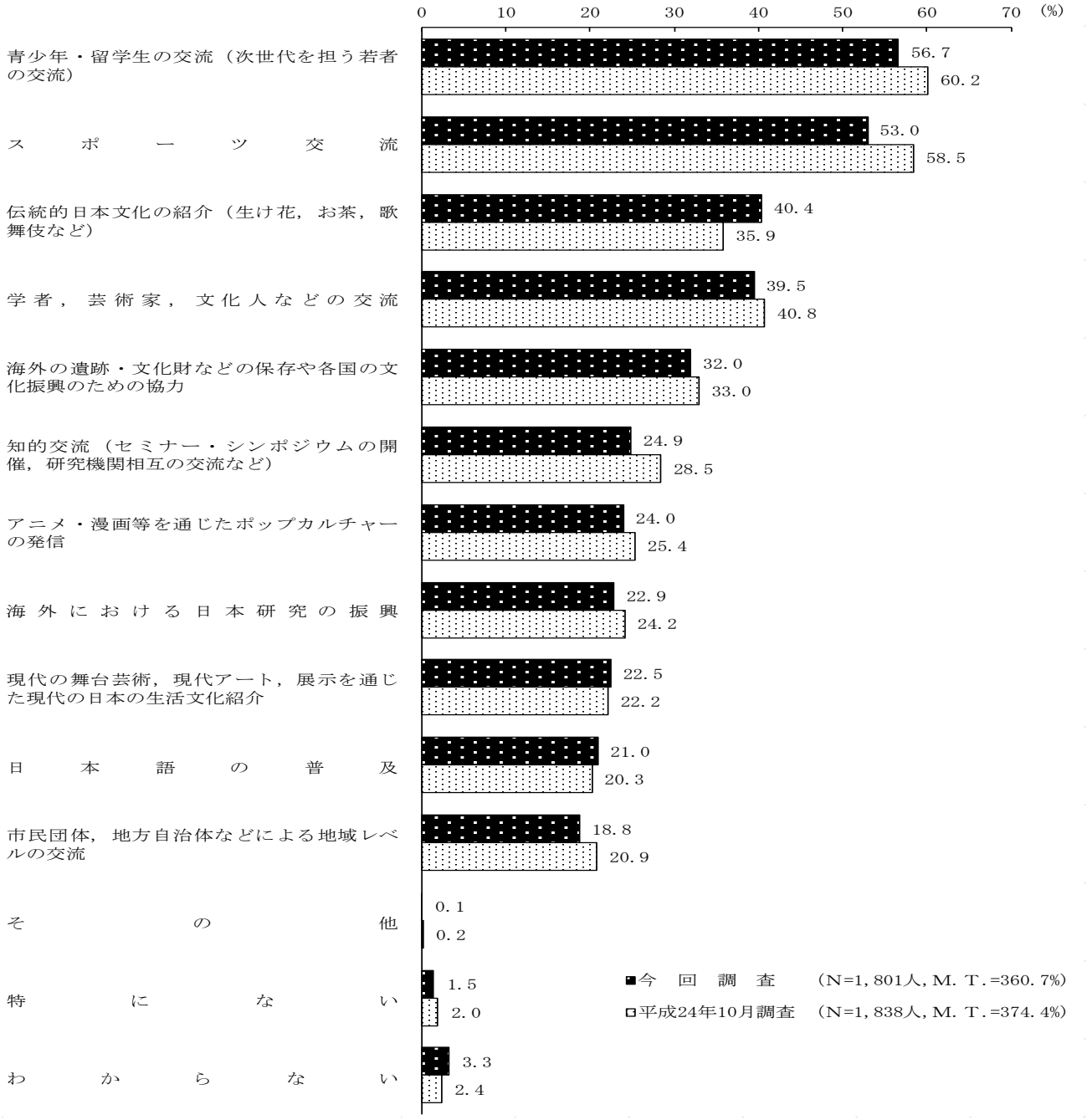
（１） 文化交流で重点を置くべき分野

問８　あなたは，諸外国との文化交流を進める上で，どの分野に重点を置くべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位４項目）

	平成 24 年 10 月		平成 26 年 10 月
・青少年・留学生の交流（次世代を担う若者の交流）	60.2%	→	56.7%(減)
・スポーツ交流	58.5%	→	53.0%(減)
・伝統的日本文化の紹介（生け花，お茶，歌舞伎など）	35.9%	→	40.4%(増)
・学者，芸術家，文化人などの交流	40.8%	→	39.5%

（複数回答）

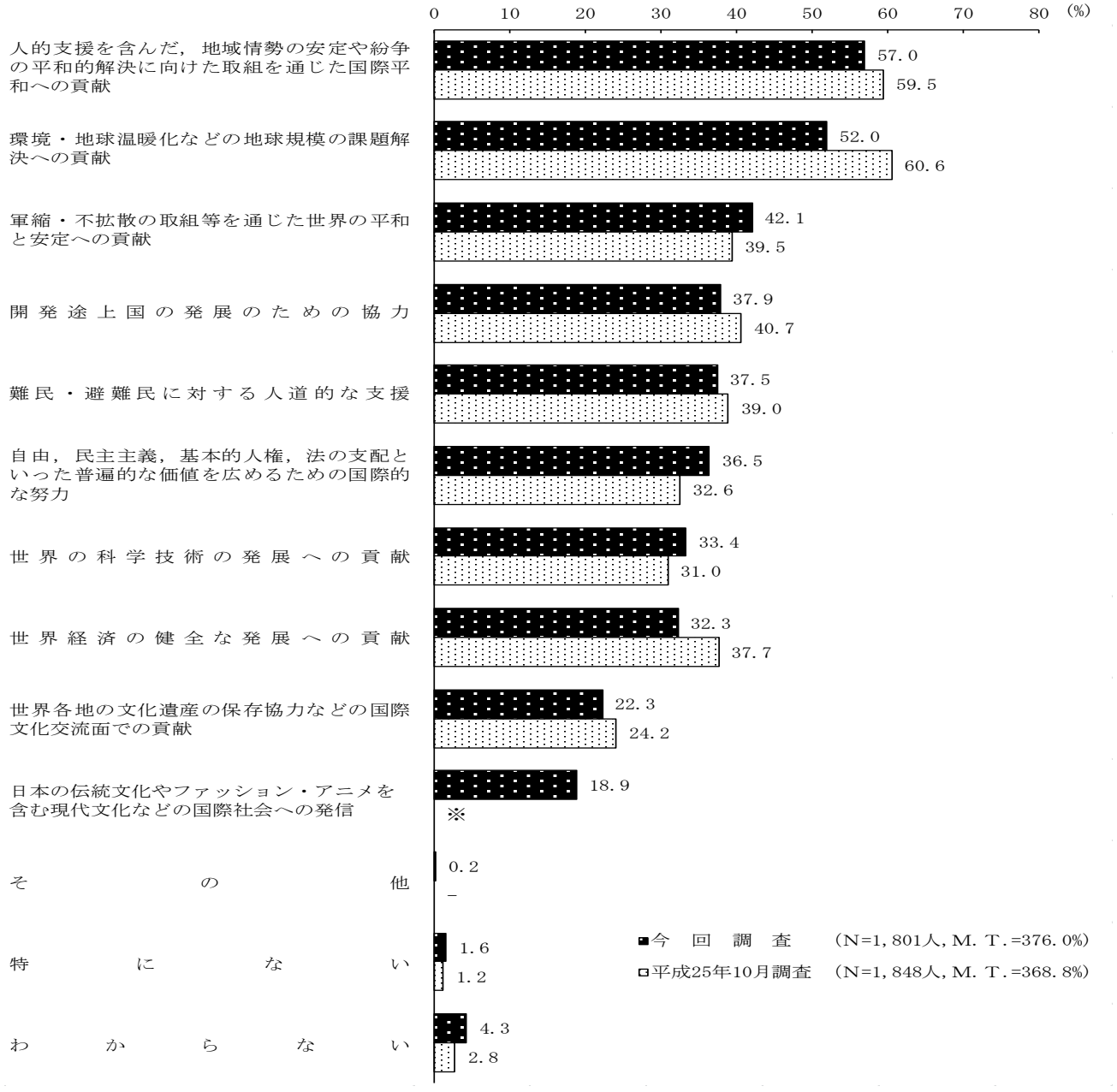


6　日本の果たすべき役割

（１） 日本の果たすべき役割

問９　あなたは，日本は国際社会で，主としてどのような役割を果たすべきだとお考えになりますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位３項目）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
・人的支援を含んだ，地域情勢の安定や紛争の平和的解決に向けた取組を通じた国際平和への貢献	59.5%	→	57.0%
・環境・地球温暖化などの地球規模の課題解決への貢献	60.6%	→	52.0%(減)
・軍縮・不拡散の取組等を通じた世界の平和と安定への貢献	39.5%	→	42.1%

（複数回答）